

# 「市民満足度調査」

## 集計・分析結果報告書

平成27年 6月

千 曲 市

# 目次

## 1. 調査の概要

- 1 調査の目的
- 2 調査方法
- 3 調査票の配布及び回収結果
- 4 集計結果の取り扱いについて

## 2. 回答者の属性

- 1 性別
- 2 年齢
- 3 職業
- 4 居住区域
- 5 居住年数
- 6 住みやすさについて
- 7 今後の居留意向

## 3. 調査の結果

- 1 市政への関心
- 2 市政への満足度と重要度
- 3 市政への要望
- 4 市政に対する不満
- 5 「協働のまちづくり」について
- 6 「議会本会議」について
- 7 市職員の対応について
- 8 地域福祉について

# 1. 調査の概要

---

---

## 1 調査の目的

平成 19 年 4 月に策定した「千曲市総合計画」に掲げた 32 項目の達成方針について、市民の皆さんがどの項目を重要と考えているのか、また、現状に対する各項目の満足度はどの程度かをお聴きし、今後の市政運営に役立てるため「市民満足度調査」を平成 20 年度より実施しています。

平成 21 年度より行政評価（施策評価）に、市民満足度調査の結果を絡めて評価しています。

## 2 調査方法

- (1) 調査対象 満 18 歳以上の市民
- (2) 標本数 2,000 人
- (3) 調査区域 千曲市全域
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- (6) 調査期日 平成 27 年 5 月 15 日～平成 27 年 5 月 29 日

## 3 調査票の配布及び回収結果

- (1) 調査票配布数 2,000 票
- (2) 有効回収数 1,017 票
- (3) 有効回収率 50.9%

### 前回（平成 26 年度）配布及び回収結果

- |            |         |
|------------|---------|
| (1) 調査票配布数 | 2,000 票 |
| (2) 有効回収数  | 585 票   |
| (3) 有効回収率  | 29.3%   |

## 4 集計結果の取り扱いについて

- (1) 各項目の集計結果は百分率で表示し、個々の項目はそれぞれ少数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、比率の合計が必ずしも 100%にならないことがある。
- (2) 「18・19 歳」の回答者数が極端に少ない為、集計結果が必ずしも目的に対して正しく反映されているとは限らない点もあるが、参考として表示するものとする。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別

性別では、「男性」が45.8%、「女性」が52.9%であった。

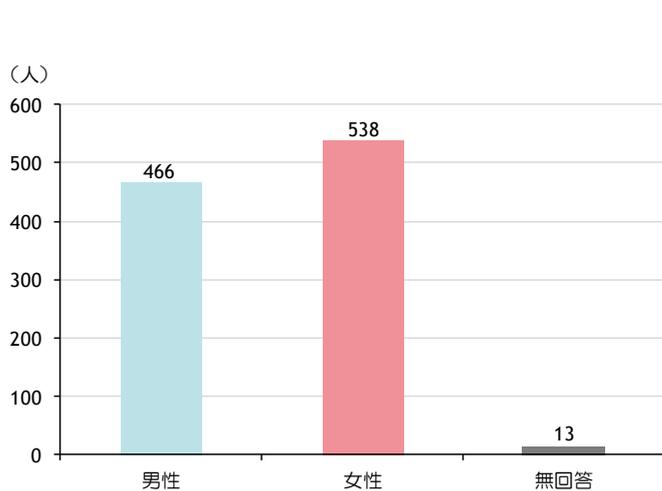


図 2-1-1 性別回答数

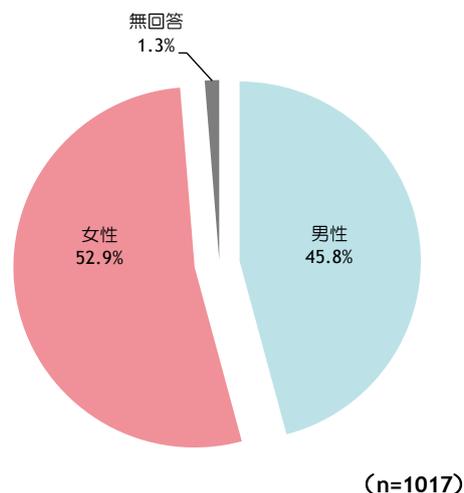


図 2-1-2 性別回答割合

### (2) 年齢

年齢別では、「60～69歳」が25.4%、「70歳以上」が22.6%となっており、60歳以上の回答者が全体の約半数を占めている。

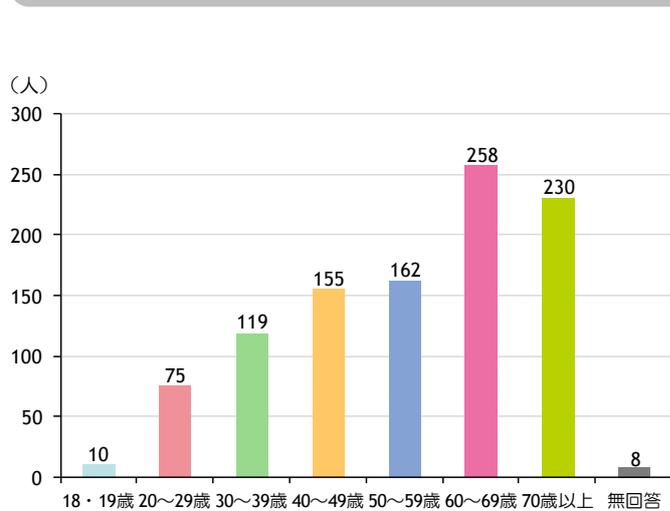


図 2-2-1 年齢別回答数

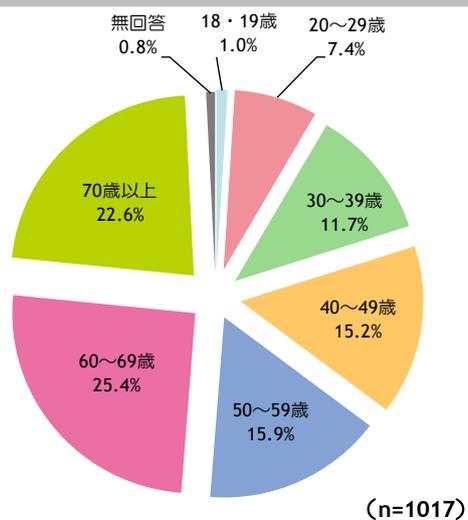


図 2-2-2 年齢別回答割合

性別による年齢の割合は、男性・女性とも60歳以上が多く、どの年齢層も男女の割合にあまり差はない。

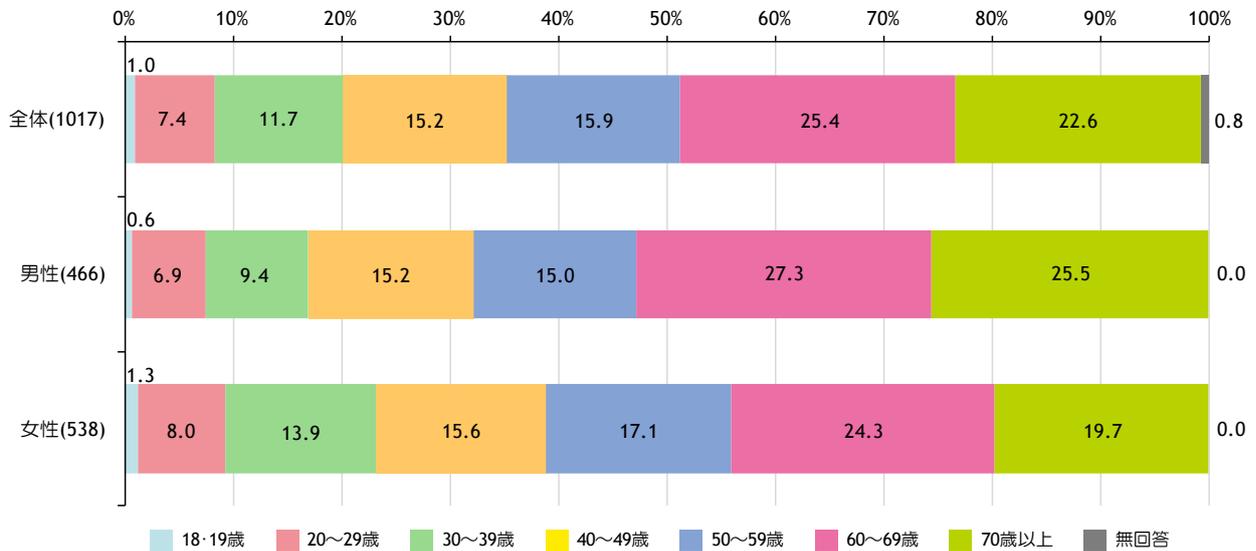


図 2-2-3 性別による年齢の回答割合

### (3) 職業

職業別では、「専業主婦・主夫、無職(36.6%)」が最も多く、次いで「会社員(28.4%)」となっている。

形態別では、(農林水産業)と(商工サービス業ほか)を合わせた“自営業”が10.3%、「会社員」「公務員」「団体職員」を合わせた“勤め人”が34.9%、「専業主婦・主夫、無職」が36.6%となっている。

平成26年調査結果と比較すると、各職業ともほぼ同じ割合となっている。

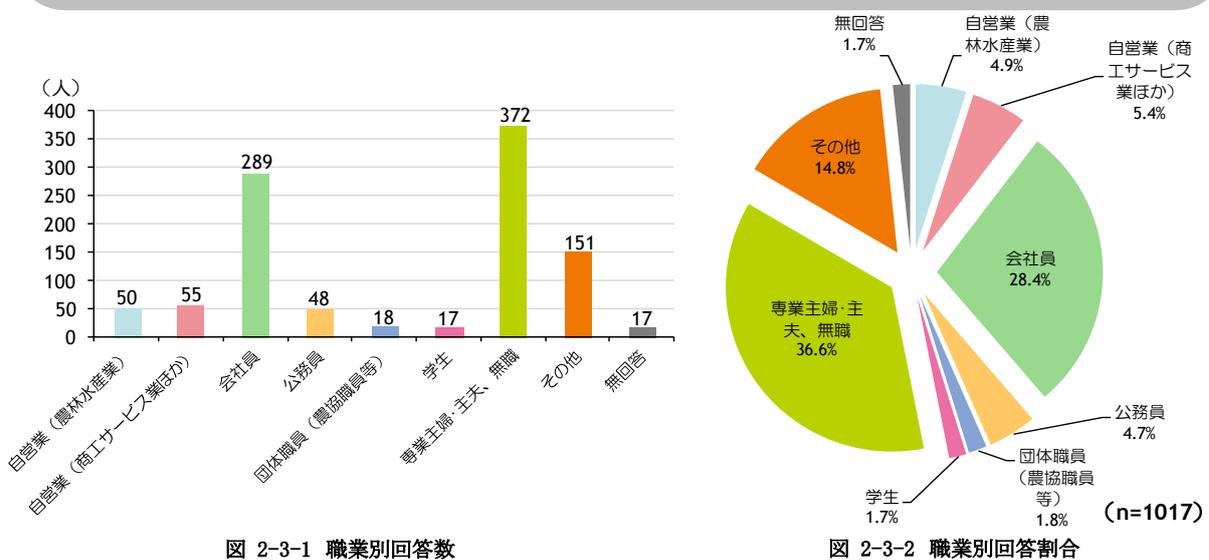


図 2-3-1 職業別回答数

図 2-3-2 職業別回答割合

#### (4) 居住区域

居住区域別では、「埴生小学校区 (17.1%)」が最も多く、「更級小学校区 (6.4%)」が最も少ない。埴生小学校区、更級小学校区を除く7小学校区の回答率はばらつきがあるものの、大きな差はみられない。

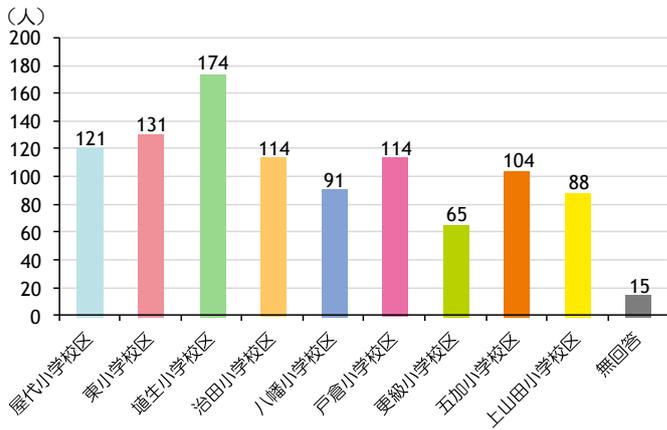


図 2-4-1 居住区域別回答数

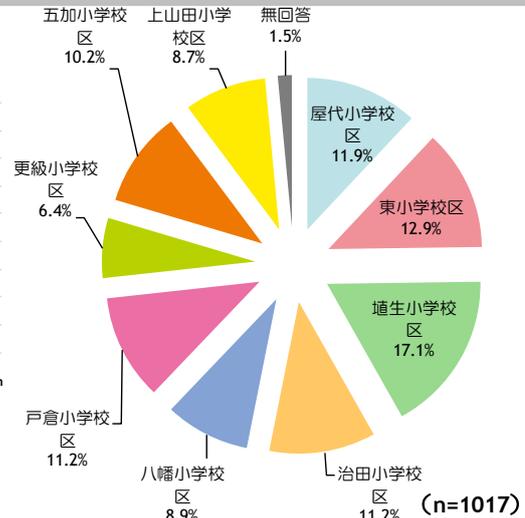


図 2-4-2 居住区域別回答割合 (n=1017)

#### 【参考】

##### ～通学区域～

屋代小学校	大字屋代、大字粟佐
東小学校	大字雨宮、大字土口、大字生萱、大字森、大字倉科
埴生小学校	大字寂蒔、大字鑄物師屋、大字打沢、大字小島、大字桜堂、 大字杭瀬下、杭瀬下一・二・三・四・五・六丁目、大字新田、大字中
治田小学校	大字稻荷山、大字野高場、大字桑原、大字八幡のうち中原区
八幡小学校	大字八幡 (中原区を除く。)
戸倉小学校	大字磯部、大字戸倉、大字戸倉温泉、大字若宮のうち八王子地区、 大字上徳間のうち今井町区・柏王区、大字内川のうち柏王区
更級小学校	大字若宮 (八王子地区を除く。)、大字羽尾、大字須坂
五加小学校	大字上徳間 (今井町区・柏王区を除く。)、大字内川 (柏王区を除く。)、 大字千本柳、大字小船山
上山田小学校	大字力石、大字新山、大字上山田、上山田温泉一・二・三・四丁目

## (5) 居住年数

居住年数別では、「30年以上（62.0%）」が最も多く約6割を占めている。「5～10年未満（4.0%）」が最も少ない。

平成26年調査結果と比較すると、「30年以上」は0.1%、「20～30年未満」は0.5%、「5年未満」は2.1%の増加、その他はいずれもわずかながら減少している。

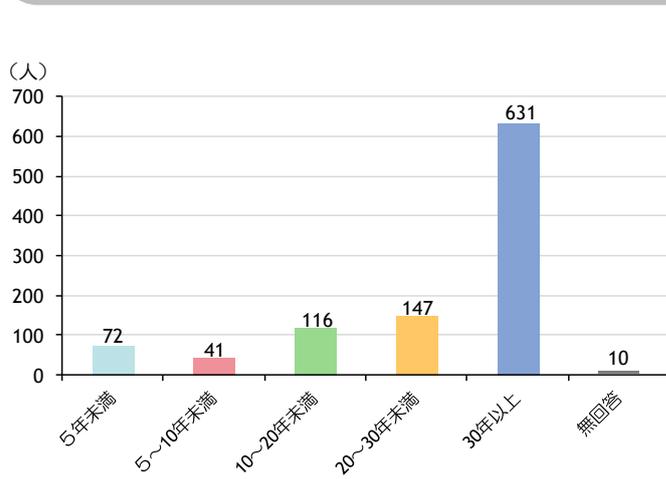


図 2-5-1 居住年数別回答数

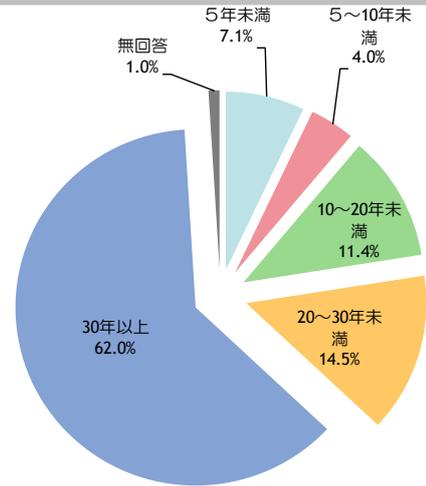


図 2-5-2 居住年数別回答割合 (n=1017)

### 【居住区域でみる居住年数】

どの小学校区も居住年数「30年以上」が最も多く5割以上を占めている。居住年数30年未満については、居住年数と回答率は一概に比例しておらず、居住区域でばらつきがある。

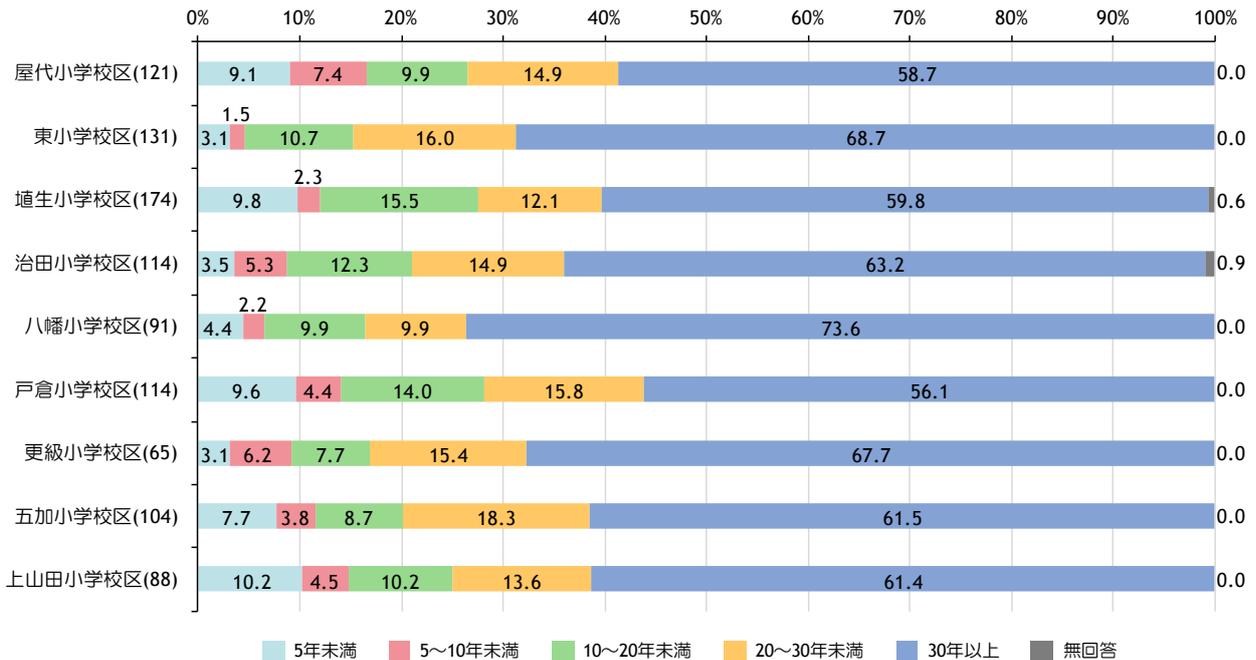


図 2-5-3 居住区域別居住年数の回答割合

## (6) 住みやすさについて

住みやすさについては、「住みやすい(20.3%)」と「まあまあ住みやすい(62.4%)」の2つを合わせた「住みやすい(82.7%)」が8割を超えている。「あまり住みやすくない(9.4%)」と「住みにくい(2.4%)」の2つを合わせた「住みにくい(11.8%)」は約1割である。

平成26年調査結果と比較すると、住みやすいが-9.1%、まあまあ住みやすいが+8.6%、あまり住みやすくないが±0%、住みにくいが+0.2%となっている。

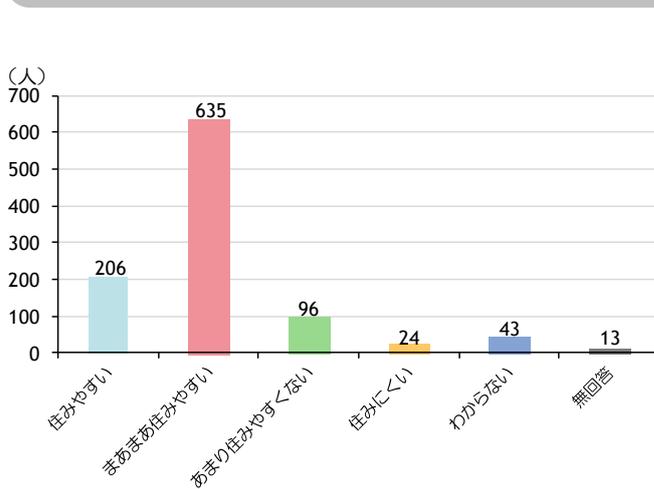


図 2-6-1 「住みやすさ」についての回答数

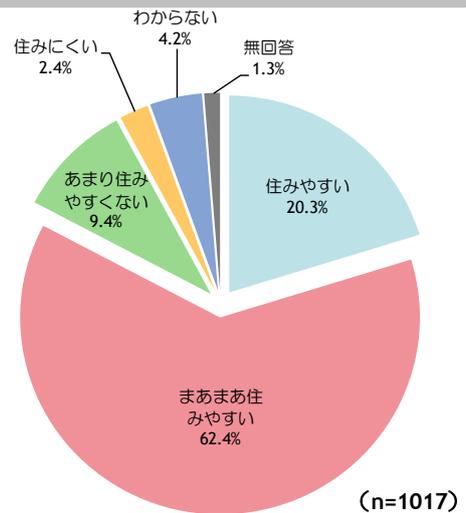


図 2-6-2 「住みやすさ」についての回答割合

### 【居住年数別の住みやすさについて】

各居住年数とも「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた「住みやすい」がほとんどで7割以上であった。

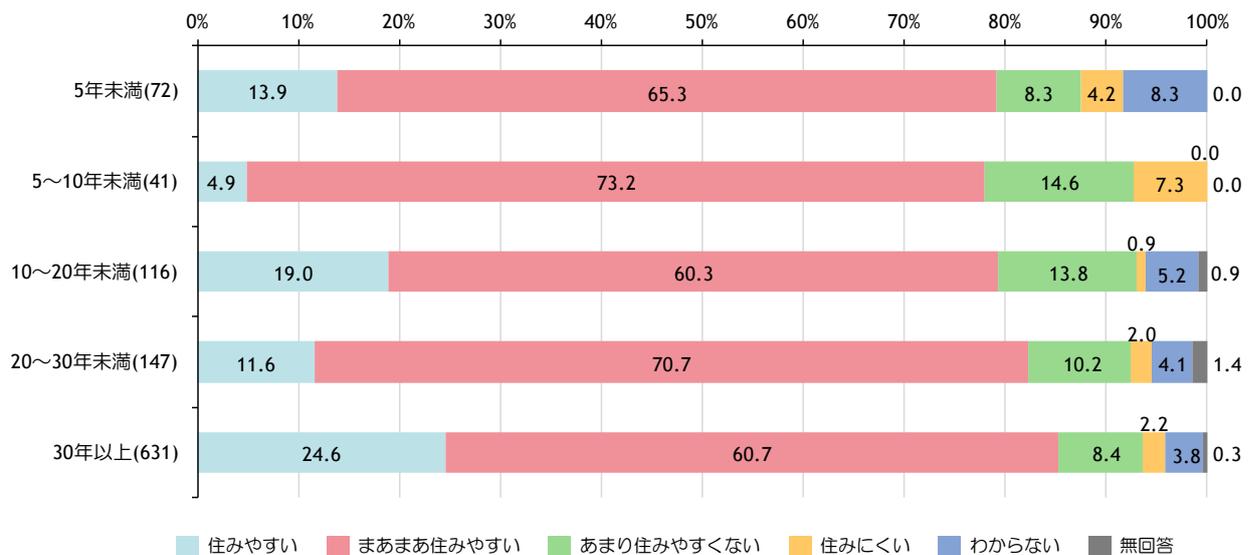


図 2-6-3 居住年数別「住みやすさ」についての回答割合

【居住地域別の住みやすさについて】

「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」の2つを合わせた“住みやすい”がほとんどの居住地域で8割以上であったが、「更級小学校区(76.9%)」「上山田小学校区(79.5%)」については8割未満であった。

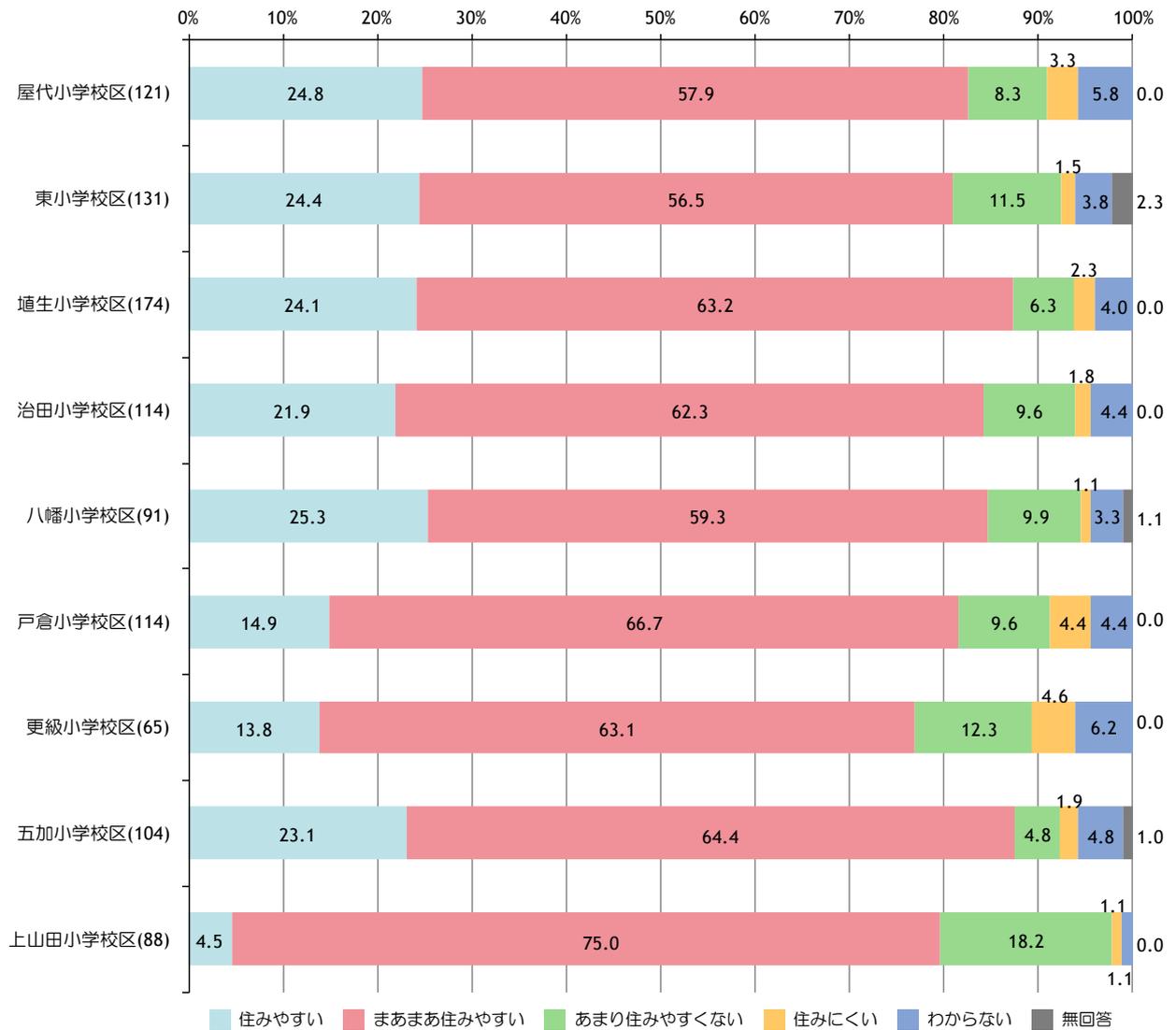


図 2-6-4 居住区域別「住みやすさ」についての回答割合

## (7) 今後の居住意向

今後の居住意向は、「住み続けたい(72.3%)」が最も多く、「市外に転出する予定(1.3%)」が最も少ない。

「住み続けたい(72.3%)」と「できれば市内の他地域に転居したい(5.1%)」を合わせると、回答者の約8割が、千曲市での居住意向を持っていることが伺える。

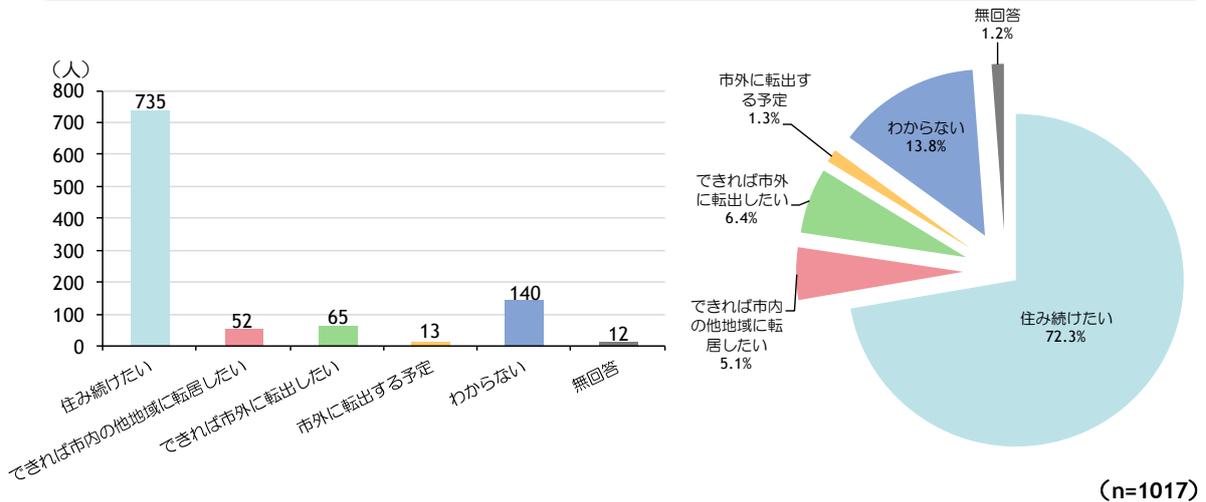


図 2-7-1 居住意向の回答数

図 2-7-2 居住意向の回答割合

### 【居住年数別の居住意向】

各居住年数とも「住み続けたい」の割合が最も高い。

しかし、居住年数が少なくなるにつれて、「住み続けたい」の割合が低下している。

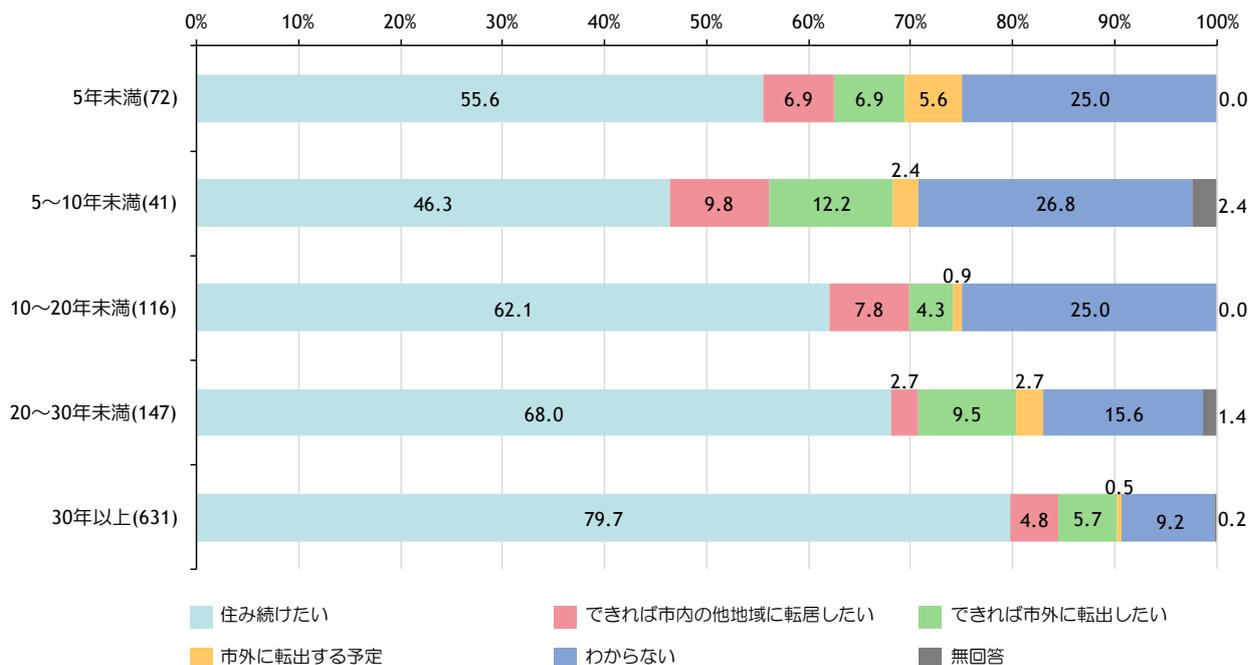


図 2-7-3 居住年数別居住意向の回答割合

**【居住地域別の居留意向】**

各居住地域とも「住み続けたい」の割合が最も高い。「住み続けたい」と「できれば市内の他地域に転居したい」を合わせると、回答者の約7割が千曲市での居留意向を持っていることが伺える。

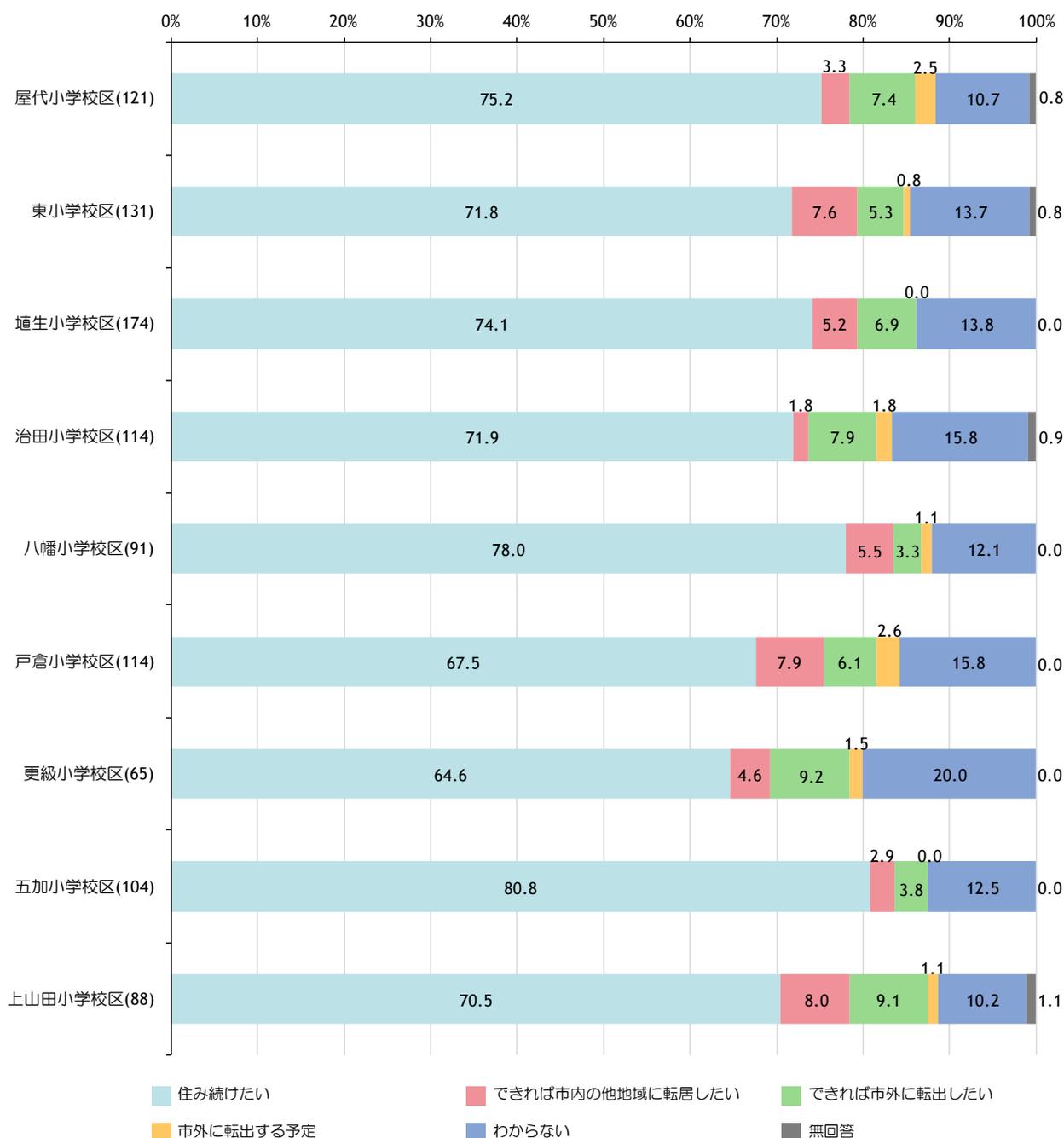


図 2-7-4 居住区域別居留意向の回答割合

### 3. 調査の結果

#### (1) 市政への関心

「ある程度関心がある(50.6%)」「あまり関心がない(23.9%)」「大変関心がある(9.7%)」の順となった。

「ある程度関心がある(50.6%)」「大変関心がある(9.7%)」の2つを合わせた“関心がある”は60.3%となり、回答者の6割以上が市政への関心があるという結果になった。

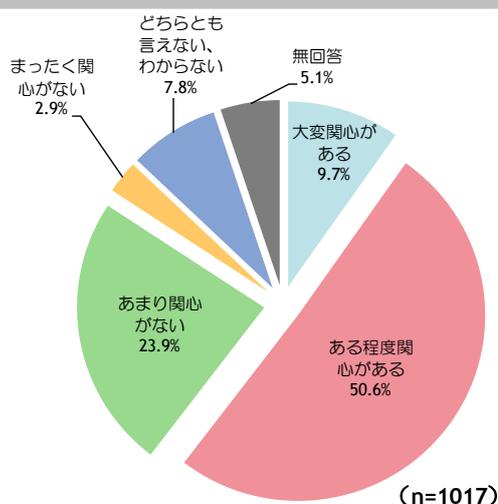
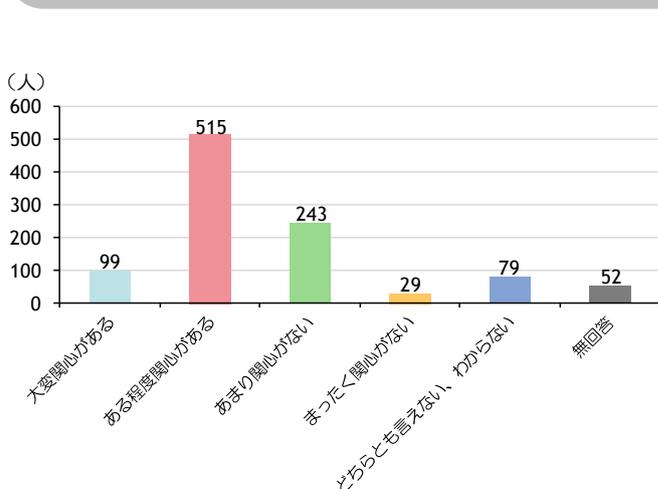


図 3-1-1 市政への関心の回答数

図 3-1-2 市政への関心の回答割合

#### 【年齢別の市政への関心】

若い年代ほど市政への関心が低下している。

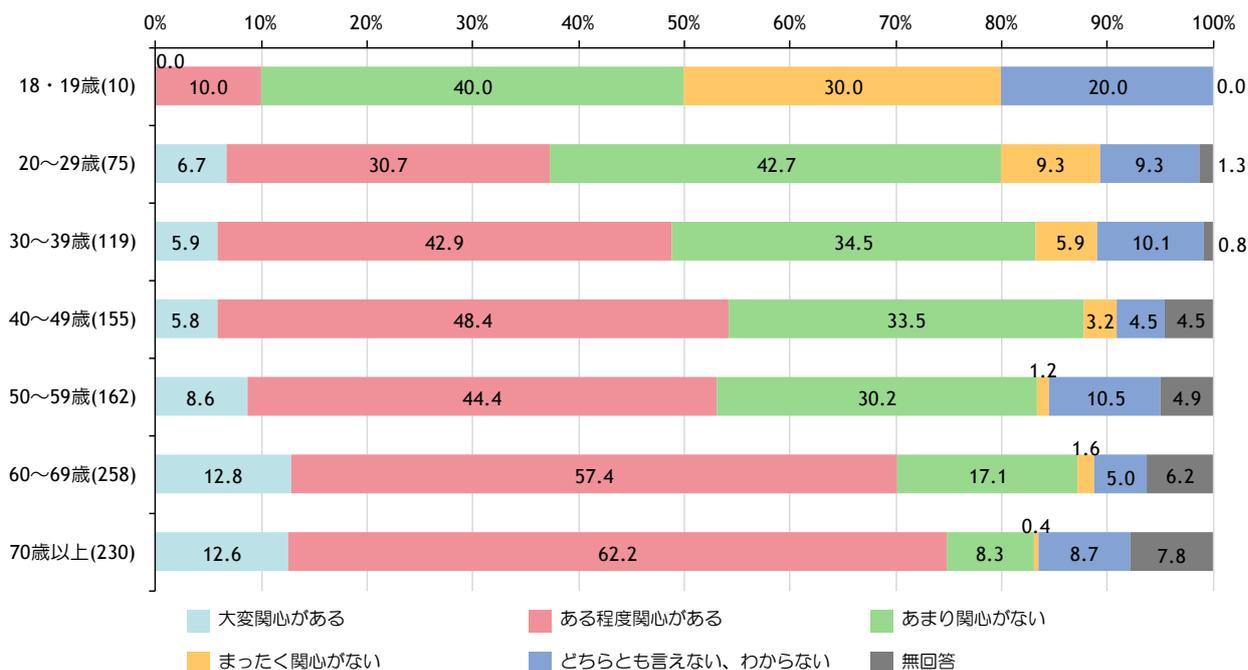


図 3-1-3 年齢別市政への関心の回答割合

## (2) 市政への満足度と重要度

問 2-2 以下の項目は、総合計画に掲げた32の達成方針とその目標が達成された状態を示しています。

それぞれの項目について、「千曲市にとって重要か」、「目標が達成された状態と比較して現状は満足しているか」、あなたのお考えに1つ〇をつけてください。

### <市政にとっての重要度>

重要度が高い項目は、「上下水道(69.9%)」「保健・医療(65.9%)」「安全・安心(61.4%)」であり、6割を超えている。次いで「ごみ処理(58.1%)」「移住・定住(55.7%)」「教育(55.0%)」「健康づくり(52.4%)」「子育て(51.9%)」が、5割を超えている。

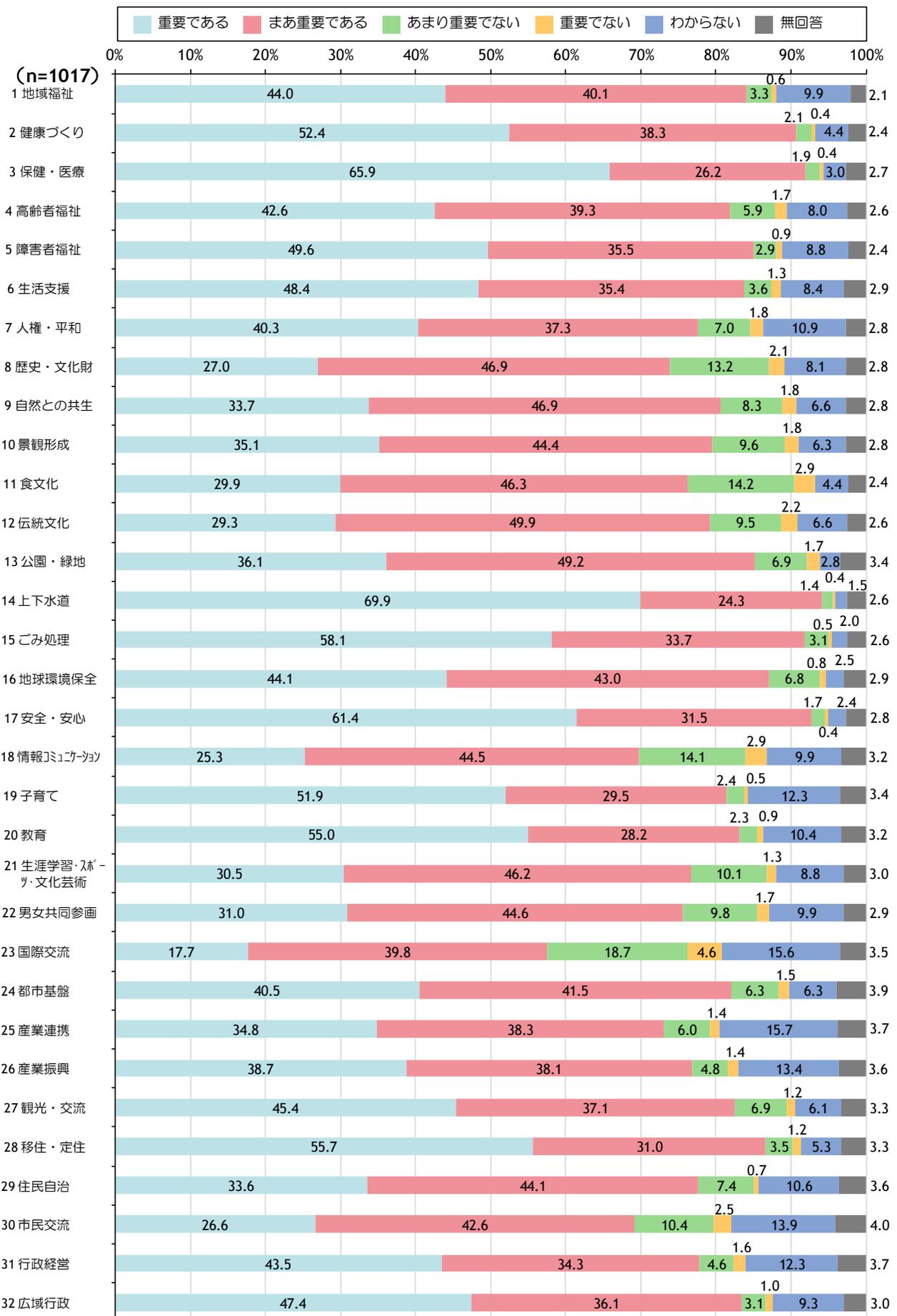
一方、重要度が低い項目では、「国際交流(17.7%)」が最も低く、次いで「情報コミュニケーション(25.3%)」「市民交流(26.6%)」の順となっている。

### <市政への重要度の意識変化>

「重要である」と「まあ重要である」の2つを合わせた“重要”の割合が、平成26年調査結果と比較して増加しているのは「安全・安心(+0.6%)」となっている。

一方、割合が減少しているのは、「教育(-5.5%)」「子育て(-5.5%)」「観光・交流(-4.6%)」「産業連携(-4.4%)」「移住・定住(-4.3%)」などとなっている。

< 市政にとっての重要度 >



### <重要度の平均スコア>

32項目の市政にとっての重要度について、「重要である」に+10点、「まあ重要である」に+5点、「あまり重要でない」に-5点、「重要でない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。これによると平均スコアの最大は+10点、最小は-10点であり点数が大きいほど重要度が高くなる。

平均スコアが最も高い項目は、「上下水道(8.31)」である。次いで「保健・医療(7.97)」「安全・安心(7.80)」「ごみ処理(7.48)」「健康づくり(7.19)」の順となっている。

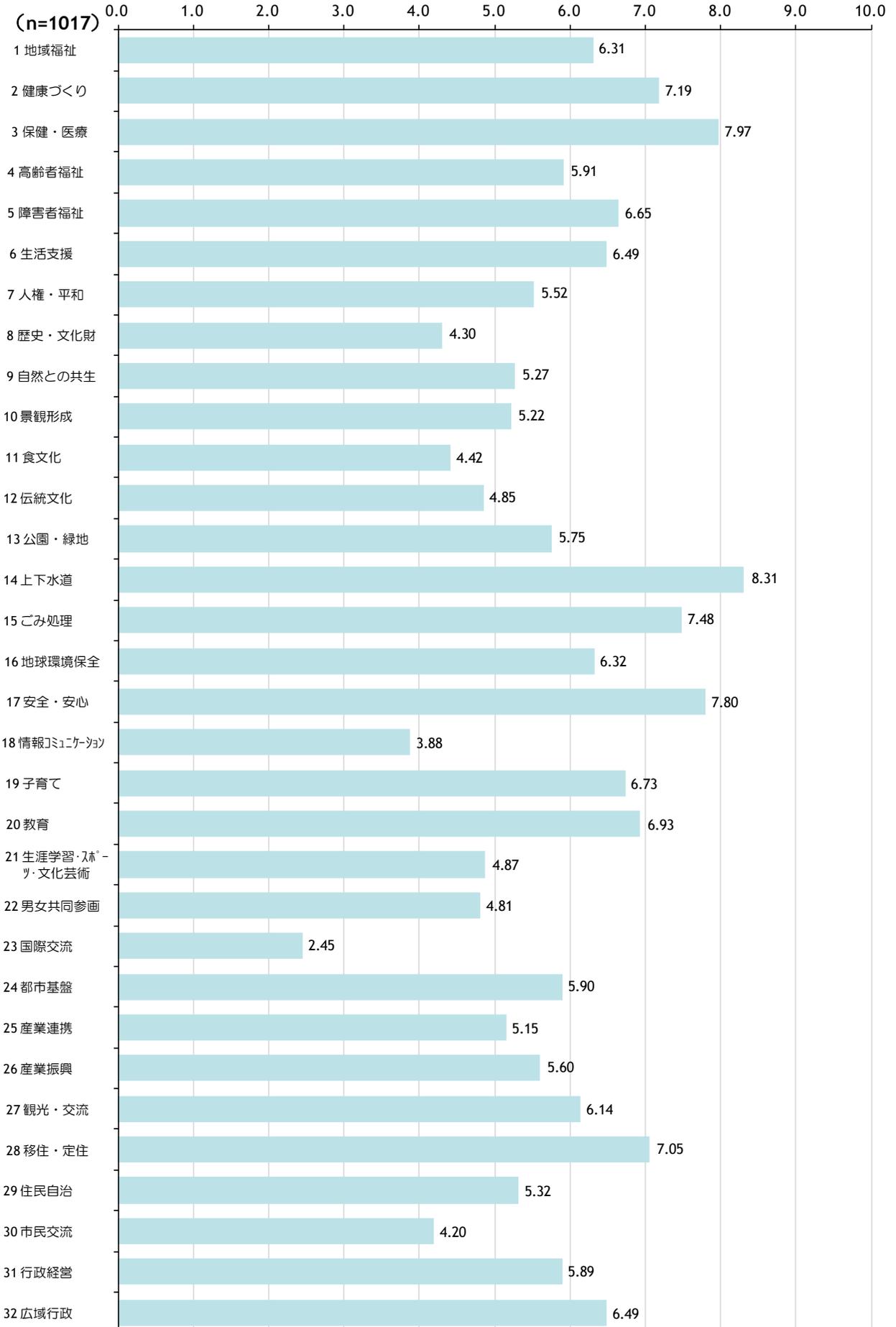
平均スコアが最も低い項目は、「国際交流(2.45)」である。次いで「情報コミュニケーション(3.88)」「市民交流(4.20)」「歴史・文化財(4.30)」「食文化(4.42)」の順となっている。

32項目全体の平均スコアは5.85であった。(前年度の平均スコアは、5.84)

また、平成26年調査結果とのランキング比較(15頁参照)では、上位5項目と下位5項目の順位に変動がなかった。

ランキングが上昇した項目は、「住民自治(24位から21位)」「生活支援(12位から10位)」「都市基盤(18位から16位)」「生涯学習・スポーツ・文化芸術(27位から25位)」「移住・定住(7位から6位)」「地域福祉(14位から13位)」「自然との共生(23位から22位)」であった。

<重要度の平均スコア>



<重要度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H27 (今回)	順位 変動	H26 (前回)		H27 (今回)	H26 (前回)	差
1	→	1	14 上下水道	8.31 P	8.10 P	0.21
2	→	2	3 保健・医療	7.97 P	7.94 P	0.03
3	→	3	17 安全・安心	7.80 P	7.49 P	0.31
4	→	4	15 ごみ処理	7.48 P	7.48 P	0.00
5	→	5	2 健康づくり	7.19 P	7.20 P	△ 0.01
6	↑	7	28 移住・定住	7.05 P	7.03 P	0.02
7	↓	6	20 教育	6.93 P	7.03 P	△ 0.10
8	→	8	19 子育て	6.73 P	6.71 P	0.02
9	→	9	5 障害者福祉	6.65 P	6.64 P	0.01
10	↑	12	6 生活支援	6.49 P	6.32 P	0.17
11	→	11	32 広域行政	6.49 P	6.41 P	0.08
12	↓	10	16 地球環境保全	6.32 P	6.41 P	△ 0.09
13	↑	14	1 地域福祉	6.31 P	6.18 P	0.13
14	↓	13	27 観光・交流	6.14 P	6.27 P	△ 0.13
15	→	15	4 高齢者福祉	5.91 P	6.09 P	△ 0.18
16	↑	18	24 都市基盤	5.90 P	5.60 P	0.30
17	→	17	31 行政経営	5.89 P	5.80 P	0.09
18	↓	16	13 公園・緑地	5.75 P	5.85 P	△ 0.10
19	→	19	26 産業振興	5.60 P	5.52 P	0.08
20	→	20	7 人権・平和	5.52 P	5.38 P	0.14
21	↑	24	29 住民自治	5.32 P	5.30 P	0.02
22	↑	23	9 自然との共生	5.27 P	5.30 P	△ 0.03
23	↓	21	10 景観形成	5.22 P	5.36 P	△ 0.14
24	↓	22	25 産業連携	5.15 P	5.32 P	△ 0.17
25	↑	27	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	4.87 P	4.70 P	0.17
26	↓	25	12 伝統文化	4.85 P	5.05 P	△ 0.20
27	↓	26	22 男女共同参画	4.81 P	4.88 P	△ 0.07
28	→	28	11 食文化	4.42 P	4.62 P	△ 0.20
29	→	29	8 歴史・文化財	4.30 P	4.38 P	△ 0.08
30	→	30	30 市民交流	4.20 P	4.17 P	0.03
31	→	31	18 情報コミュニケーション	3.88 P	3.97 P	△ 0.09
32	→	32	23 国際交流	2.45 P	2.52 P	△ 0.07

### < 市政への満足度 >

「満足している」と「まあ満足している」の2つを合わせた“満足”の割合が最も高い項目は、「上下水道(68.4%)」である。次いで「地球環境保全(58.6%)」「健康づくり(58.6%)」「安全・安心(52.9%)」「ごみ処理(50.4%)」「食文化(50.1%)」の順となっている。

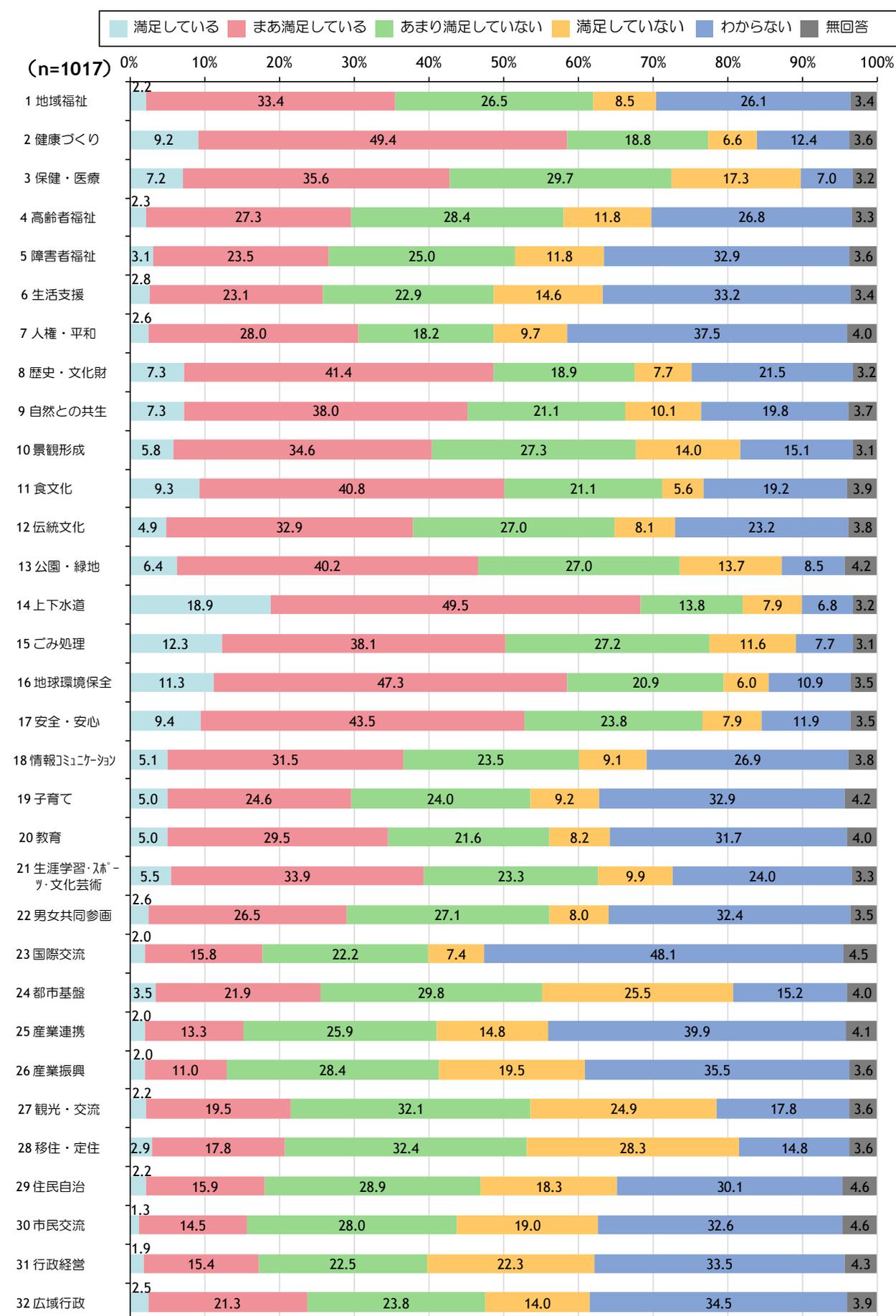
「あまり満足していない」と「満足していない」の2つを合わせた“不満”の割合が最も高い項目は、「移住・定住(60.7%)」である。次いで「観光・交流(57.0%)」「都市基盤(55.3%)」の順となっている。

### < 市政への満足度の意識変化 >

“満足”の割合が平成26年調査結果と比較して増加している項目は、「地域福祉(+2.1%)」「情報コミュニケーション(+0.3%)」となっている。

一方、“不満”の割合が増加しているのは、「生活支援(+5.0%)」「保健・医療(+5.0%)」「伝統文化(+4.0%)」「移住・定住(+3.6%)」「教育(+3.6%)」などとなっている。

< 市政への満足度 >



<満足度の平均スコア>

重要度と同様に、市政への満足度についても、32項目ごとに「満足している」に+10点、「まあ満足している」に+5点、「あまり満足していない」に-5点、「満足していない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。

平均スコアが最も高い項目は、「上下水道(2.98)」である。次いで「地球環境保全(1.92)」「健康づくり(1.86)」「食文化(1.41)」「安全・安心(1.18)」「歴史・文化財(1.12)」の順となっている。

平均スコアが最も低い項目は、「移住・定住(-3.39)」である。次いで「観光・交流(-3.01)」「産業振興(-2.72)」「都市基盤(-2.69)」「市民交流(-2.57)」「行政経営(-2.51)」の順となっている。

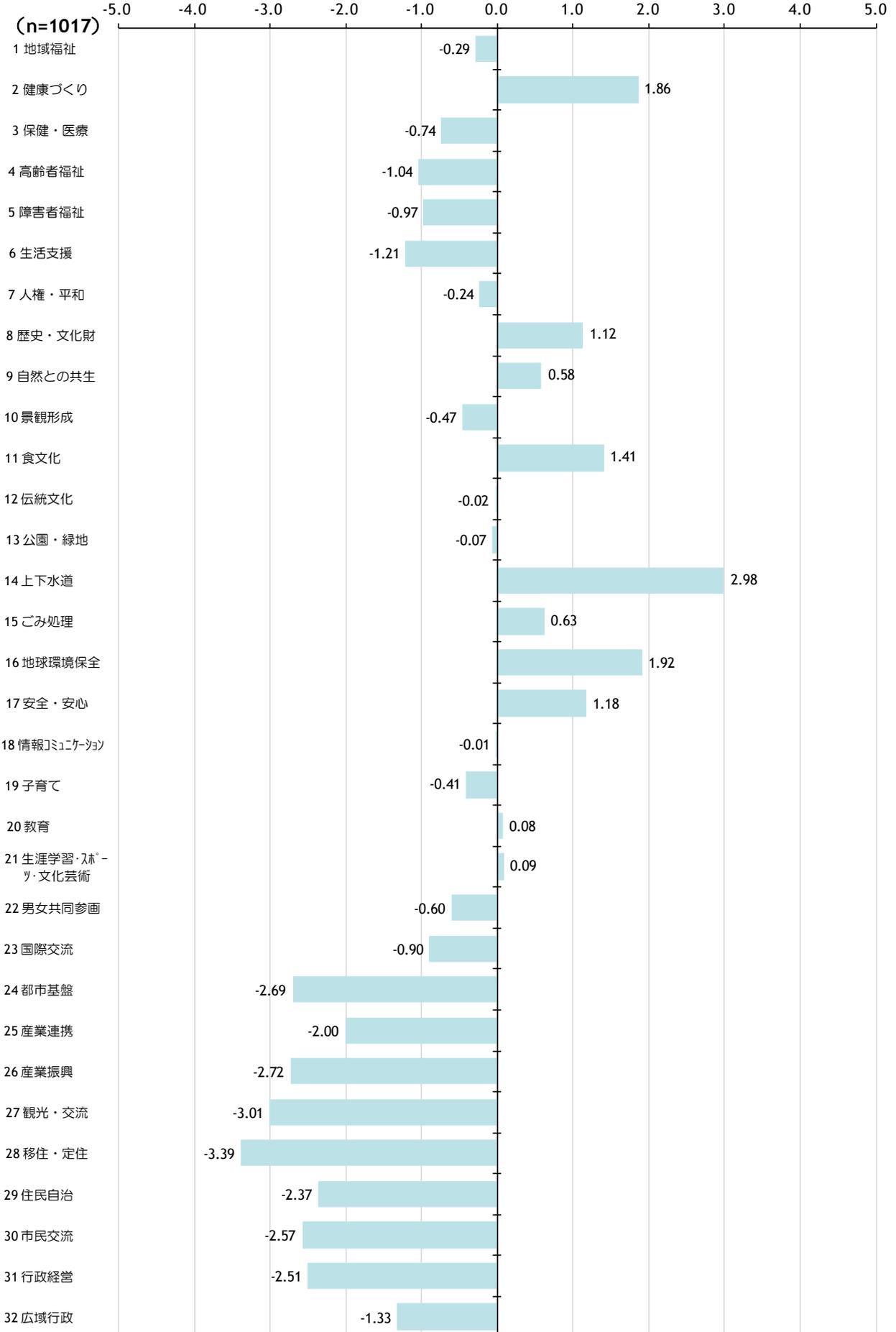
32項目全体の平均スコアは-0.55であった。(前年度の平均スコアは、-0.28)

また、平成26年調査結果とのランキング比較(20頁参照)では、上位4項目に順位の変動がなかった。

下位については、「産業振興(32位から30位)」「移住・定住(30位から32位)」の順位に変動があったものの、下位9項目は同じであった。

ランキングが大幅に上昇した項目は、「地域福祉(22位から15位)」「情報コミュニケーション(17位から11位)」「ごみ処理(11位から7位)」などで、ランキングが大幅に下降したのは、「保健・医療(13位から19位)」「伝統文化(9位から12位)」「公園・緑地(10位から13位)」「景観形成(14位から17位)」「高齢者福祉(19位から22位)」「生活支援(20位から23位)」などである。

<満足度の平均スコア>



<満足度の平均スコアランキング>

ランク			項 目	ポイント数		
H27 (今回)	順位 変動	H26 (前回)		H27 (今回)	H26 (前回)	差
1	→	1	14 上下水道	2.98 P	2.87 P	0.11
2	→	2	16 地球環境保全	1.92 P	2.25 P	△ 0.33
3	→	3	2 健康づくり	1.86 P	1.95 P	△ 0.09
4	→	4	11 食文化	1.41 P	1.91 P	△ 0.50
5	↑	6	17 安全・安心	1.18 P	1.12 P	0.06
6	↓	5	8 歴史・文化財	1.12 P	1.60 P	△ 0.48
7	↑	11	15 ごみ処理	0.63 P	0.36 P	0.27
8	↓	7	9 自然との共生	0.58 P	0.97 P	△ 0.39
9	↑	12	21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	0.09 P	0.28 P	△ 0.19
10	↓	8	20 教育	0.08 P	0.90 P	△ 0.82
11	↑	17	18 情報コミュニケーション	-0.01 P	-0.31 P	0.30
12	↓	9	12 伝統文化	-0.02 P	0.81 P	△ 0.83
13	↓	10	13 公園・緑地	-0.07 P	0.62 P	△ 0.69
14	↑	16	7 人権・平和	-0.24 P	-0.10 P	△ 0.14
15	↑	22	1 地域福祉	-0.29 P	-0.79 P	0.50
16	↓	15	19 子育て	-0.41 P	0.02 P	△ 0.43
17	↓	14	10 景観形成	-0.47 P	0.05 P	△ 0.52
18	→	18	22 男女共同参画	-0.60 P	-0.31 P	△ 0.29
19	↓	13	3 保健・医療	-0.74 P	0.21 P	△ 0.95
20	↑	23	23 国際交流	-0.90 P	-0.98 P	0.08
21	→	21	5 障害者福祉	-0.97 P	-0.75 P	△ 0.22
22	↓	19	4 高齢者福祉	-1.04 P	-0.37 P	△ 0.67
23	↓	20	6 生活支援	-1.21 P	-0.50 P	△ 0.71
24	→	24	32 広域行政	-1.33 P	-1.21 P	△ 0.12
25	→	25	25 産業連携	-2.00 P	-1.46 P	△ 0.54
26	→	26	29 住民自治	-2.37 P	-2.21 P	△ 0.16
27	→	27	31 行政経営	-2.51 P	-2.37 P	△ 0.14
28	→	28	30 市民交流	-2.57 P	-2.38 P	△ 0.19
29	→	29	24 都市基盤	-2.69 P	-2.60 P	△ 0.09
30	↑	32	26 産業振興	-2.72 P	-2.97 P	0.25
31	→	31	27 観光・交流	-3.01 P	-2.80 P	△ 0.21
32	↓	30	28 移住・定住	-3.39 P	-2.62 P	△ 0.77

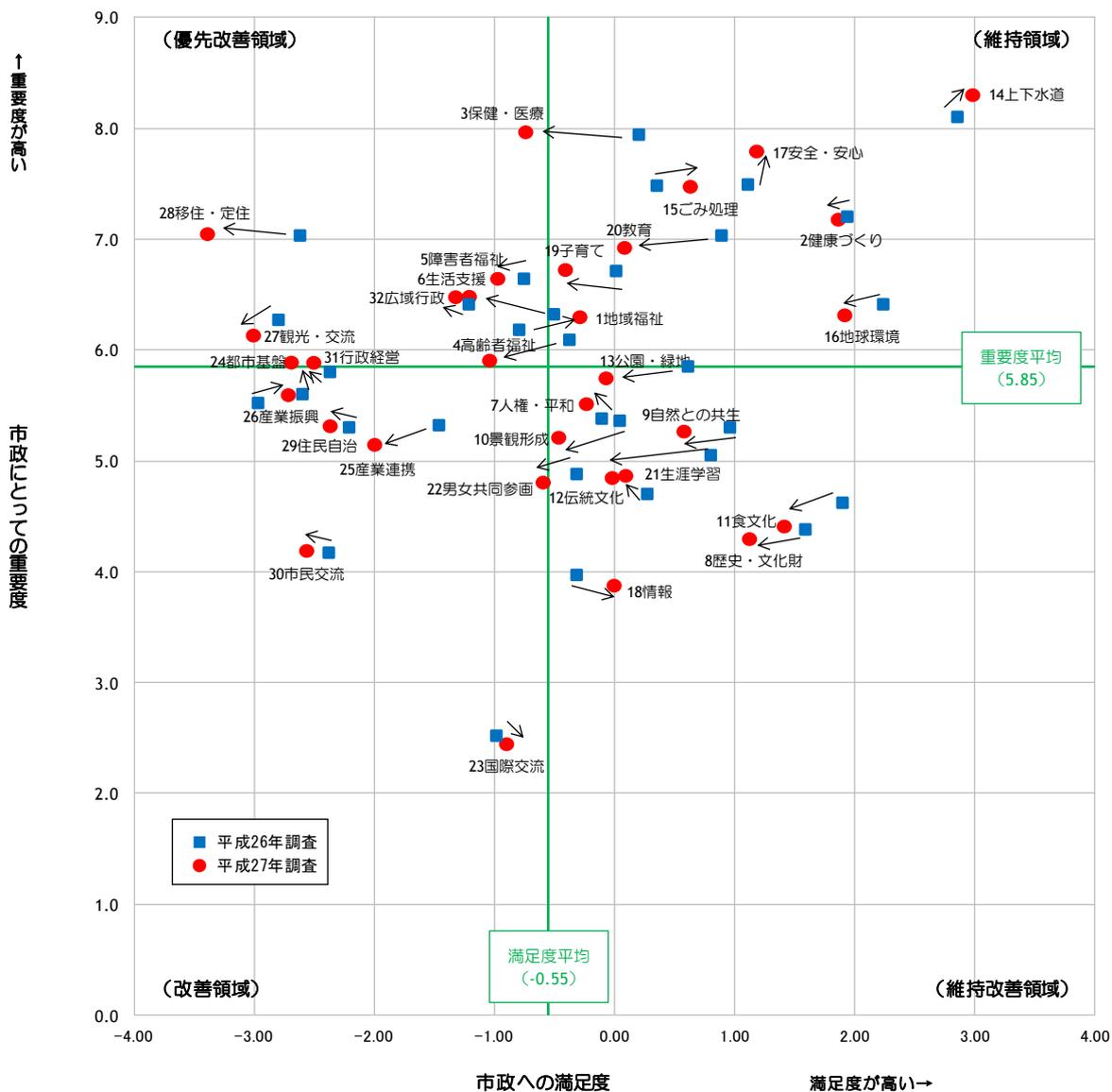
<重要度と満足度の相関>

32項目について、市政にとっての重要度の平均スコアと市政への満足度の平均スコアの相関を示した。

この図では、より左上にある項目ほど「満足度が低く、かつ重要度が高い」ことになり、今後の市政の重点課題と考えられる。

満足度が低く重要度が高い項目は「移住・定住」「観光・交流」「広域行政」「生活支援」などがあげられる。

また、「満足度が高く、重要度も高い項目」は、「上下水道」「地球環境」「健康づくり」「安全・安心」「ごみ処理」などがあげられる。



### (3) 市政への要望

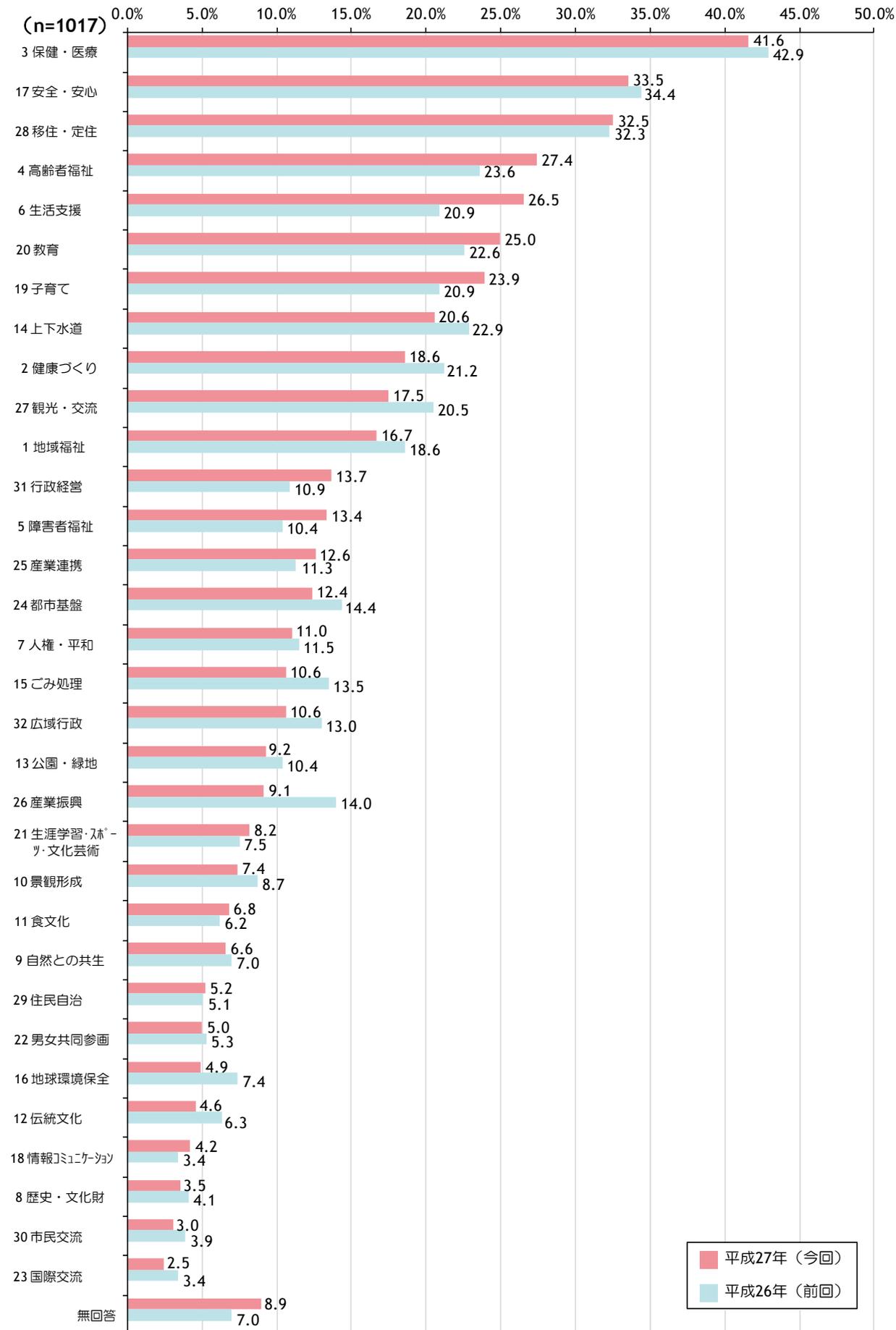
問 2-3 今後、千曲市がより暮らしやすい地域になるためには、問 2-2 に示した「総合計画に掲げた 32 の達成方針」のうち、どの項目が重要とお考えですか。1 から 32 までの項目の中から、特に重要と考える項目を 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

特に重要だと思う施策については、昨年と同様に「保健・医療(41.6%)」が最も多かった。次いで「安全・安心(33.5%)」「移住・定住(32.5%)」「高齢者福祉(27.4%)」「生活支援(26.5%)」「教育(25.0%)」の順になっている。

平成 26 年調査との比較において、増加しているのは「生活支援(+5.6%)」「高齢者福祉(+3.8%)」「子育て(+3.0%)」「障害者福祉(+3.0%)」などである。

一方、減少しているのは「産業振興(-4.9%)」「観光・交流(-3.0%)」「ごみ処理(-2.9%)」などである。

< 市政への要望 >



【性別・年齢別の市政への要望】

性別では、1位から3位まで順位は異なっているが同じ項目（保健・医療、安全・安心、移住・定住）となっている。

年齢別では、「保健・医療」が70歳以上を除く全ての年齢層で1位となっている。また、20代、30代を除く全ての年齢層で「安全・安心」、及び20代から60代の年齢層で「移住・定住」の割合が共通して高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位		
全体 (n=1017)	保健・医療 (41.6%)	安全・安心 (33.5%)	移住・定住 (32.5%)	高齢者福祉 (27.4%)	生活支援 (26.5%)		
男性 (n=466)	保健・医療 (38.0%)	移住・定住 (34.1%)	安全・安心 (32.4%)	高齢者福祉 (28.3%)	生活支援 (27.3%)		
女性 (n=538)	保健・医療 (44.6%)	安全・安心 (34.9%)	移住・定住 (31.6%)	教育 (29.6%)	子育て (27.9%)		
18・19歳 (n=10)	保健・医療 (40.0%)	安全・安心 (40.0%)	生活支援 (30.0%)	人権・平和 (30.0%)	食文化 (30.0%)		
20代 (n=75)	保健・医療 (44.0%)	子育て (40.0%)	移住・定住 (40.0%)	教育 (33.3%)	生活支援 (32.0%)		
30代 (n=119)	保健・医療 (42.0%)	子育て (40.3%)	移住・定住 (33.6%)	教育 (28.6%)	生活支援 (25.2%)		
40代 (n=155)	保健・医療 (41.9%)	安全・安心 (40.0%)	教育 (34.8%)	移住・定住 (34.2%)	子育て (24.5%)		
50代 (n=162)	保健・医療 (50.0%)	移住・定住 (42.0%)	安全・安心 (40.1%)	高齢者福祉 (28.4%)	生活支援 (24.1%)		
60代 (n=258)	保健・医療 (45.0%)	安全・安心 (34.5%)	移住・定住 (32.9%)	高齢者福祉 (31.8%)	生活支援 (29.8%)		
70歳以上 (n=230)	高齢者福祉 (30.4%)	安全・安心 (30.4%)	保健・医療 (30.0%)	生活支援 (25.7%)	教育 (23.5%)		

#### (4) 市政に対する不満

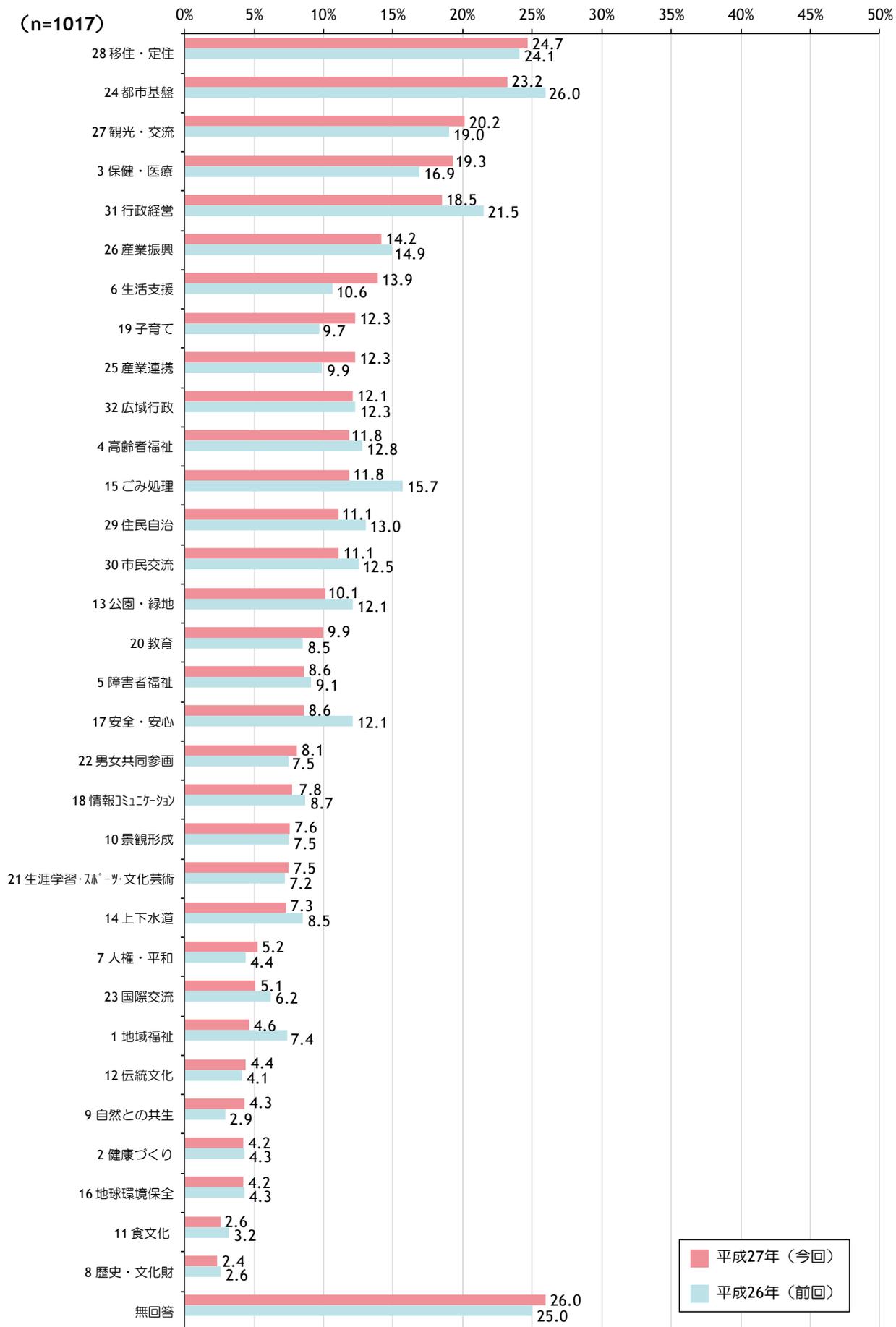
問 2-4 現状で、特に不満を感じている項目を問 2-3 同様 5 つ選び、下の枠の中に番号を記入してください。

特に不満を感じている施策については、「移住・定住 (24.7%)」が最も多く、次いで「都市基盤(23.2%)」「観光・交流(20.2%)」「保健・医療 (19.3%)」「行政経営(18.5%)」の順となっている。

平成 26 年調査結果と比較すると、大幅に増加しているのは「生活支援(+3.3%)」「子育て(2.6%)」「保健・医療(2.4%)」「産業連携(2.4%)」などである。

一方、大幅に減少しているのは「ごみ処理(-3.9%)」「安全・安心(-3.5%)」「行政経営(-3.0%)」などである。

< 市政に対する不満 >



【性別・年齢別の市政への要望】

性別では、1位から5位まで順位は異なっているが同じ項目（移住・定住、都市基盤、観光・交流、保健・医療、行政経営）となっている。

年齢別では、「移住・定住」「都市基盤」が18・19歳を除く全ての年齢層で4位以内となっている。その他「保健・医療」「行政経営」「観光・交流」の3項目については、年齢層でばらつきはあるものの、共通して高い割合になっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位		
全 体 (n=1017)	移住・定住 (24.7%)	都市基盤 (23.2%)	観光・交流 (20.2%)	保健・医療 (19.3%)	行政経営 (18.5%)		
男 性 (n=466)	移住・定住 (24.9%)	都市基盤 (22.3%)	行政経営 (21.5%)	観光・交流 (20.2%)	保健・医療 (17.8%)		
女 性 (n=538)	都市基盤 (24.3%)	移住・定住 (24.3%)	保健・医療 (21.0%)	観光・交流 (20.3%)	行政経営 (16.0%)		
18・19歳 (n=10)	子育て (30.0%)	高齢者福祉 (20.0%)	人権・平和 (20.0%)	景観形成 (20.0%)	教育 (20.0%)	生涯学習・スポーツ・文化芸術 (20.0%)	国際交流 (20.0%)
20代 (n=75)	移住・定住 (29.3%)	都市基盤 (24.0%)	保健・医療 (22.7%)	生活支援 (22.7%)	子育て (20.0%)		
30代 (n=119)	都市基盤 (29.4%)	保健・医療 (26.1%)	移住・定住 (23.5%)	子育て (20.2%)	生活支援 (19.3%)		
40代 (n=155)	移住・定住 (30.3%)	行政経営 (27.7%)	保健・医療 (25.8%)	都市基盤 (25.2%)	観光・交流 (20.0%)		
50代 (n=162)	移住・定住 (30.2%)	都市基盤 (29.6%)	保健・医療 (25.9%)	観光・交流 (24.7%)	行政経営 (21.0%)		
60代 (n=258)	移住・定住 (24.4%)	都市基盤 (22.9%)	保健・医療 (19.8%)	観光・交流 (19.8%)	行政経営 (19.0%)		
70歳以上 (n=230)	観光・交流 (19.6%)	移住・定住 (16.5%)	都市基盤 (15.2%)	産業振興 (14.8%)	行政経営 (12.6%)		

## (5) 「協働のまちづくり」について

問 3-1 「協働」という言葉を以前から知っていましたか。

「協働」については、「知らない(43.7%)」「言葉を聞いたことはある(34.2%)」「言葉の意味を知っている(19.0%)」となった。

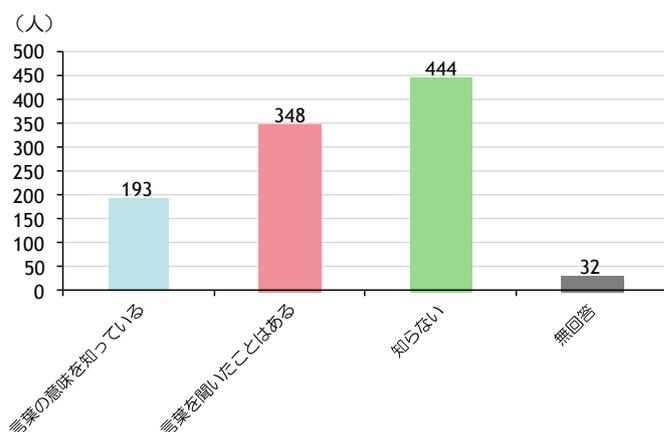


図 3-5-1 「協働」についての回答数

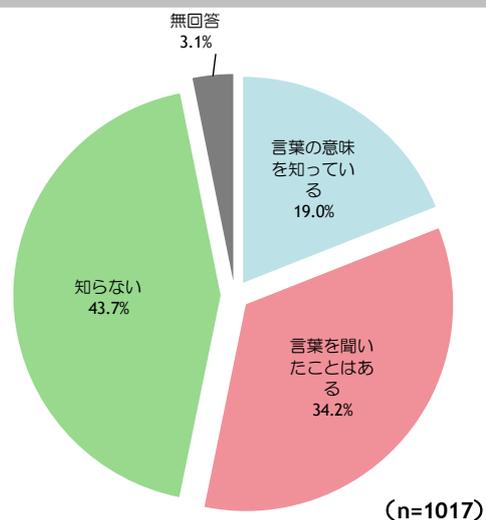


図 3-5-2 「協働」についての回答割合

### 【参考】

※協働とは…

地域における目標の達成や課題の解決を図るため、市民と行政が対等な立場で一緒に考え、一緒に行動すること。

【性別の「協働」について】

「協働」について「意味を知っている」と回答した男性は24.5%、女性は14.5%となり、「知らない」と回答した男性は37.8%、女性は49.1%となった。

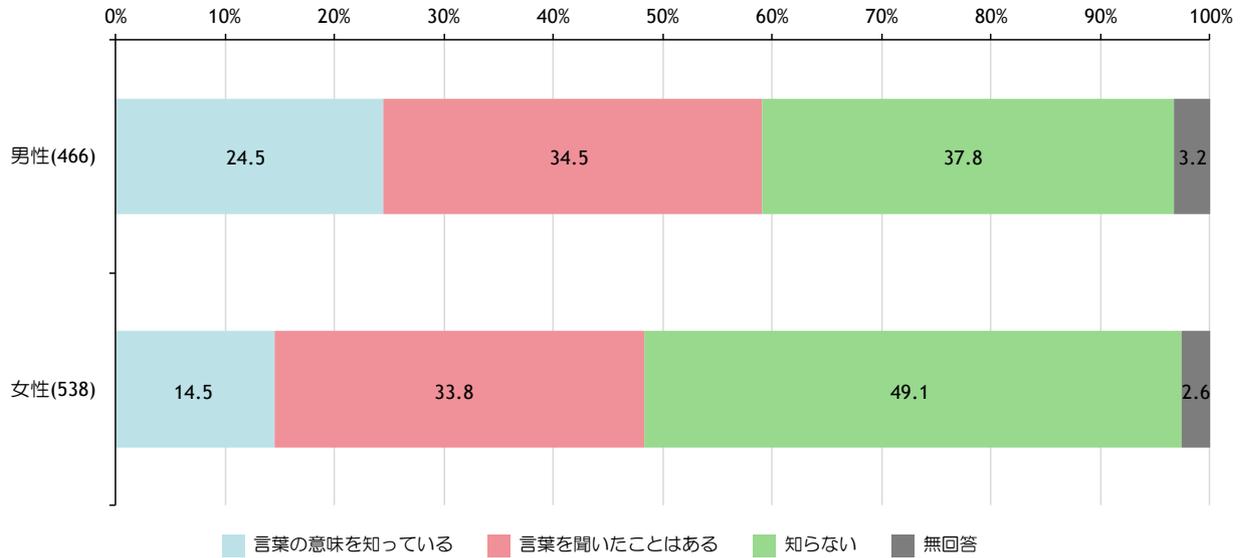


図 3-5-3 性別による「協働」についての回答割合

【年齢別の「協働」について】

18・19歳及び60歳以上では「言葉の意味を知っている」「言葉を聞いたことがある」の割合が半数を超えているが、その他の年齢層では「知らない」の割合が半数を超えている。

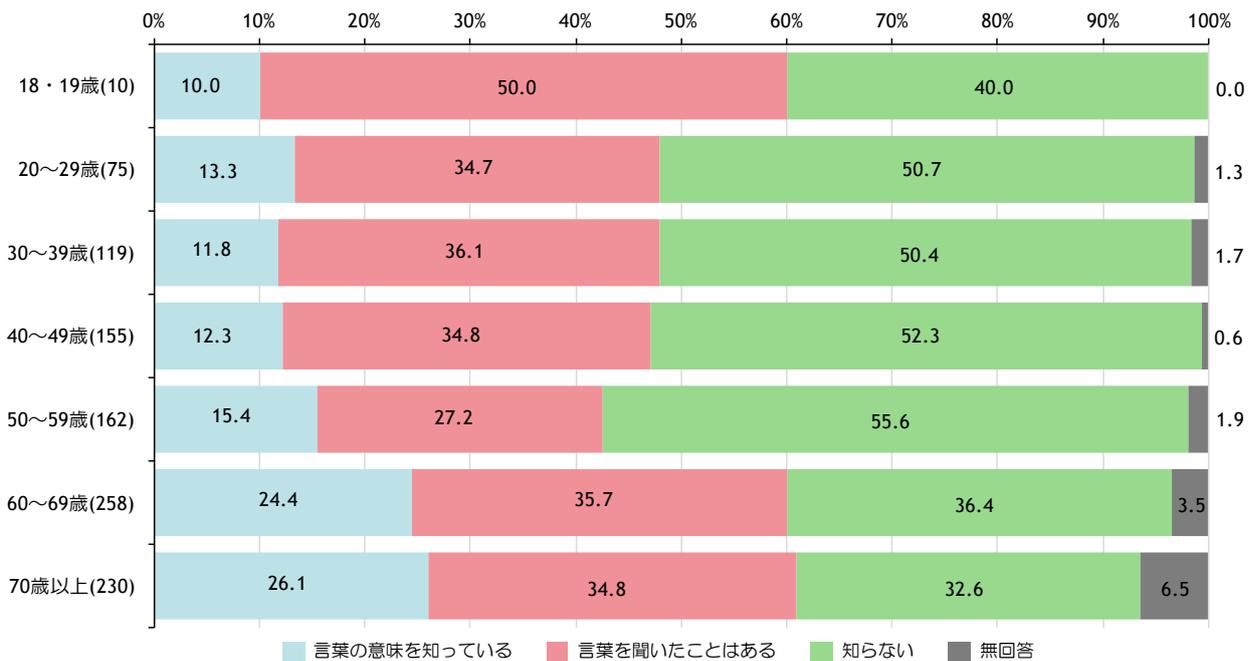


図 3-5-4 年齢別「協働」についての回答割合

**問 3-2** 市民と行政が一緒に考え、一緒に行動する「協働のまちづくり」の実現に向け、あなたは何か活動をしたいと思いませんか。

「協働のまちづくり」の実現に向けた活動について「機会があれば考えたい(55.0%)」の割合が最も高く、「わからない(22.3%)」「活動したくない(7.0%)」「今後活動したい(6.3%)」「現在、活動している(5.0%)」の順となった。

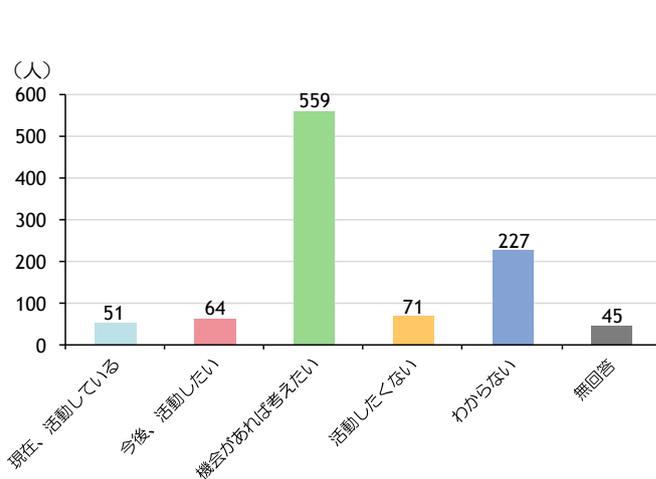


図 3-5-5 「協働のまちづくり」の実現意欲回答数

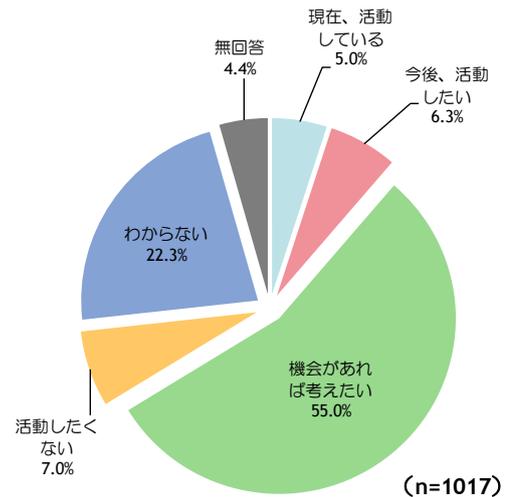


図 3-5-6 「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

**【性別の「協働のまちづくり」の実現意欲】**

男性、女性とも「機会があれば考えたい」の割合が5割以上となった。

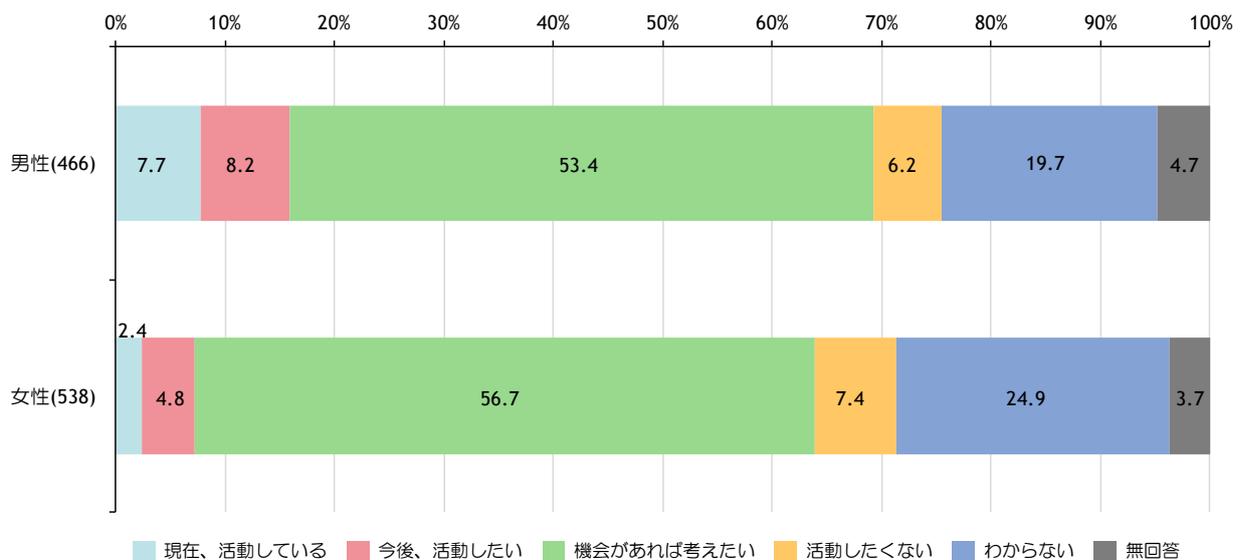


図 3-5-7 性別による「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

【年齢別の「協働のまちづくり」の実現意欲】

18・19歳を除く年齢層で「機会があれば考えたい」の割合が最も高く、5割以上となった。

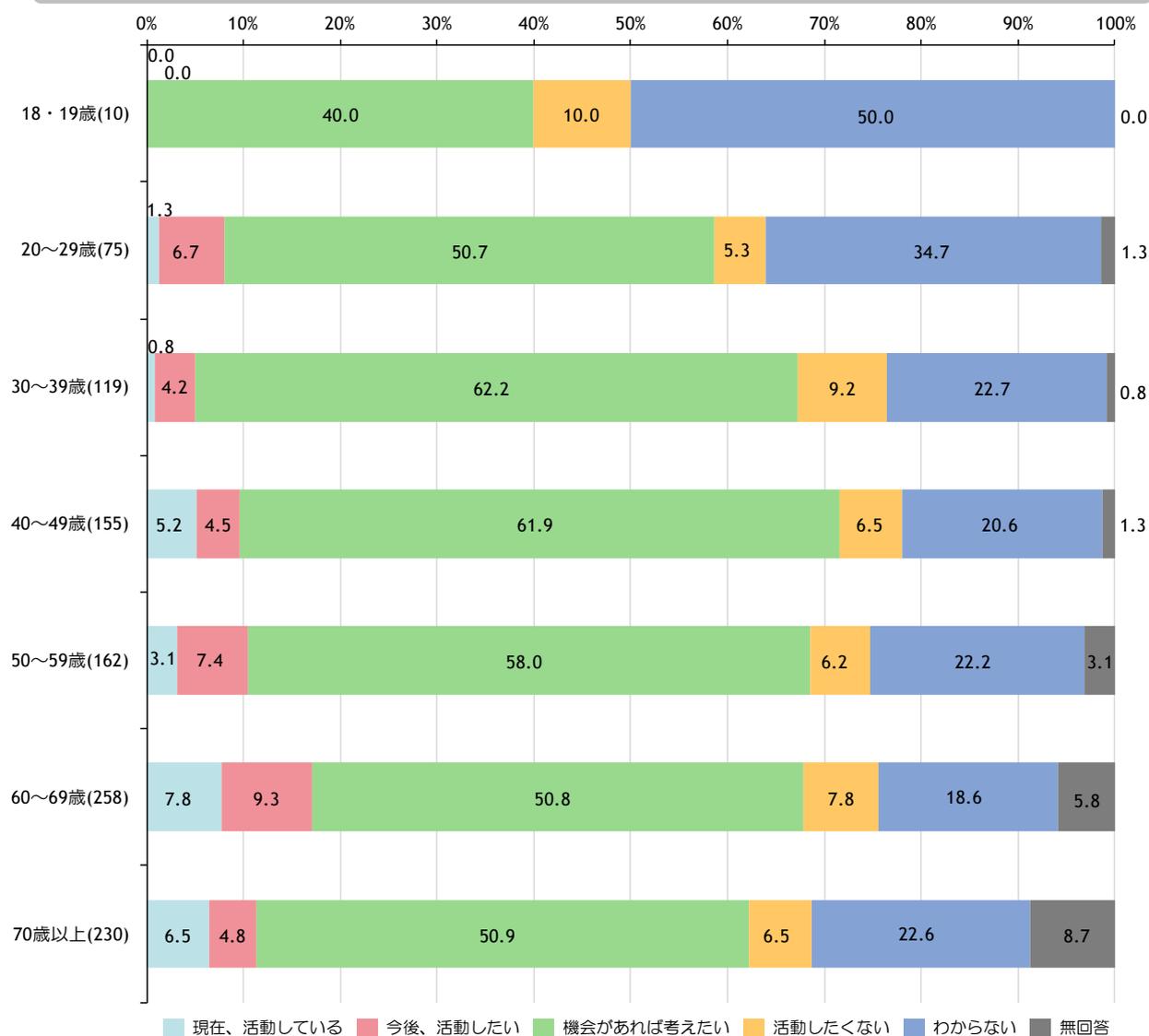


図 3-5-8 年齢別「協働のまちづくり」の実現意欲回答割合

## (6) 「議会本会議」について

問 4-1 議会本会議の様子や審議結果などをご覧になっていますか。

議会本会議の様子や審議結果などについては、「あまり見ない(33.5%)」「まったく見ない(31.6%)」「時々見ている(27.6%)」「よく見ている(5.1%)」の順となったが、上位3項目は約3割とほぼ同じ割合となった。

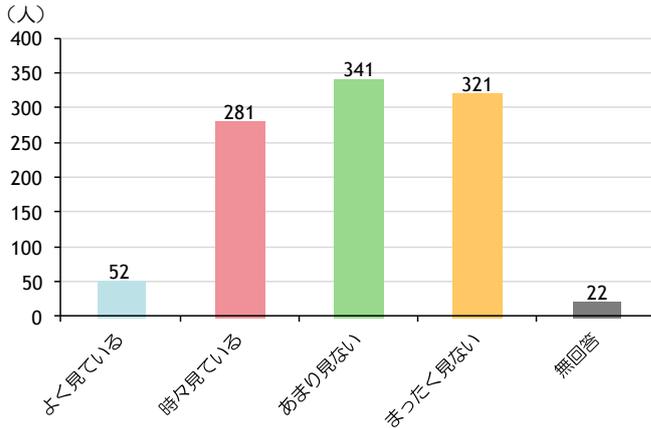


図 3-6-1 「議会本会議」についての回答数

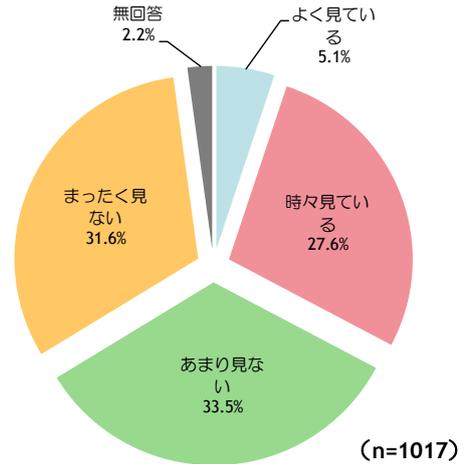


図 3-6-2 「議会本会議」についての回答割合

### 【年齢別の「議会本会議」について】

「よく見ている」「時々見ている」の“見ている”が60歳以上では4割を超え、40・50代では2割を超えている。低い年代は割合が低くなっている。

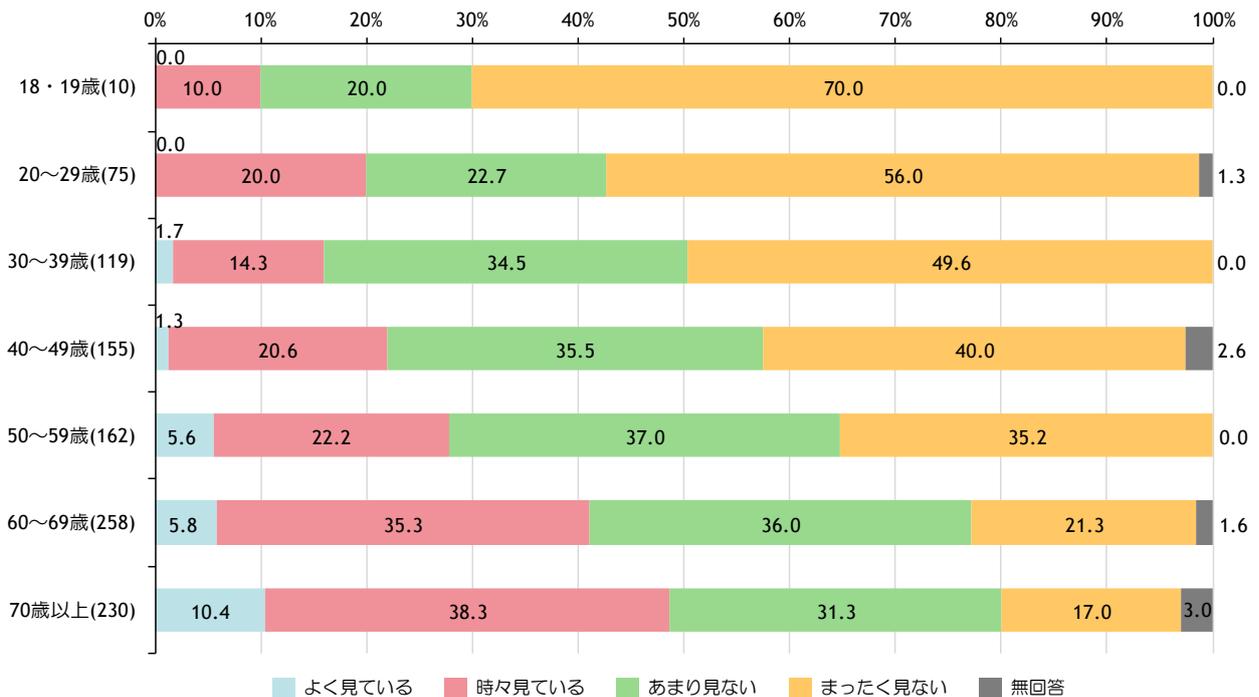


図 3-6-3 年齢別「議会本会議」についての回答割合

＜問 4-1 で「よく見ている」「時々見ている」「あまり見ない」とお答えいただいた方＞  
**問 4-2** どのような方法でご覧になっていますか。（複数回答可）

議会本会議の様子や審議結果の情報を得るための方法として、「議会報『市議会だより』を読む(72.2%)」「ケーブルテレビで議会中継を観る(20.2%)」の2つの方法が、回答者の9割を占める結果となった。

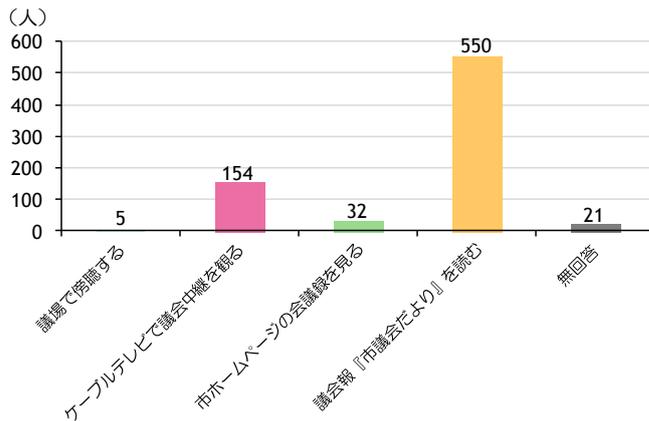


図 3-6-4 「議会本会議」の情報入手方法の回答数

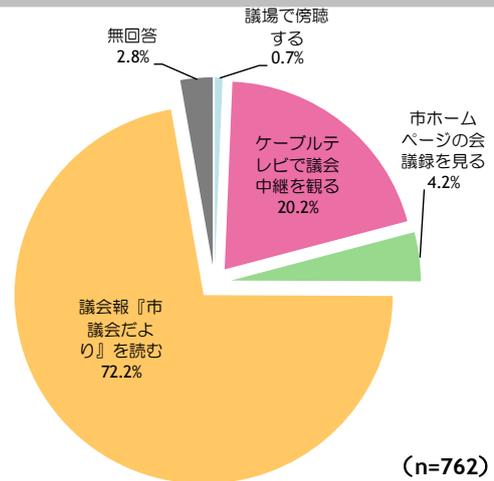


図 3-6-5 「議会本会議」の情報入手方法の回答割合

**【年齢別の「議会本会議」の情報入手方法について】**

どの年代の回答者も9割以上の方が議会報『市議会だより』を読む「ケーブルテレビで議会中継を観る」で情報を得ている結果となった。

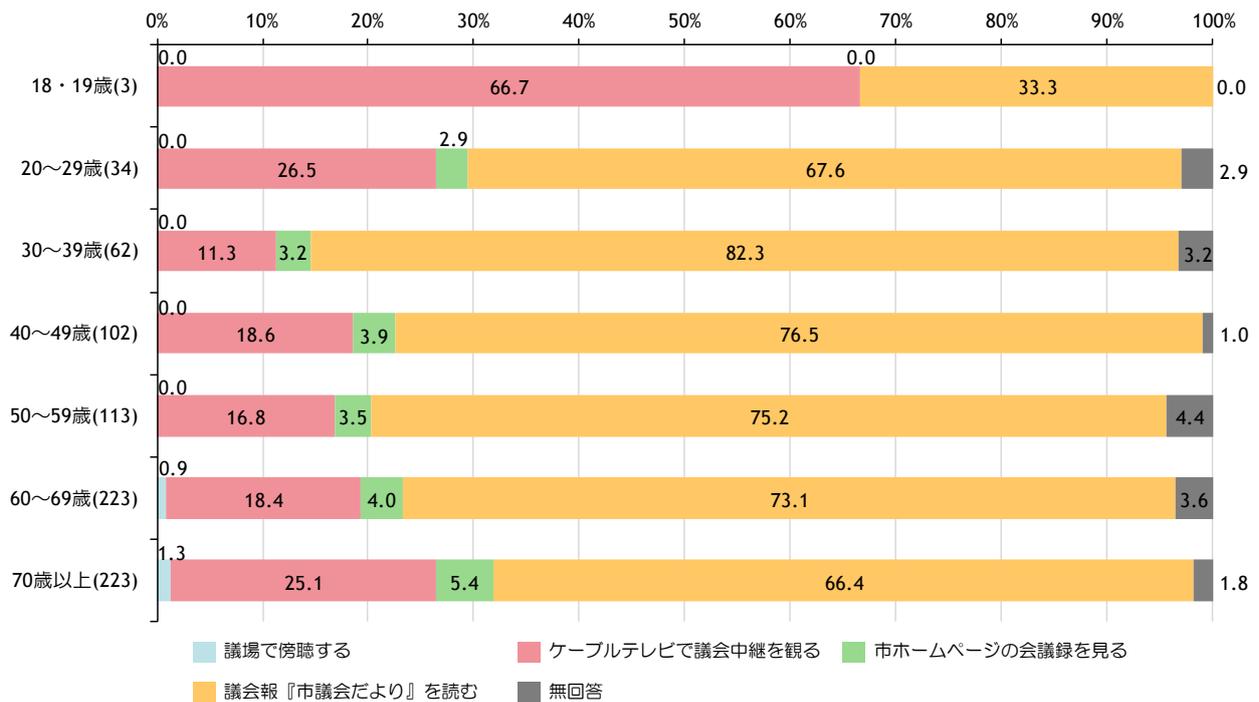


図 3-6-6 年齢別「議会本会議」の情報入手方法の回答割合

## (7) 市職員の応対について

### 問 5-1 市職員の応対に好感が持てますか。

市職員の応対については、「どちらともいえない(45.3%)」「持てる(31.4%)」「持てない(20.6%)」となった。

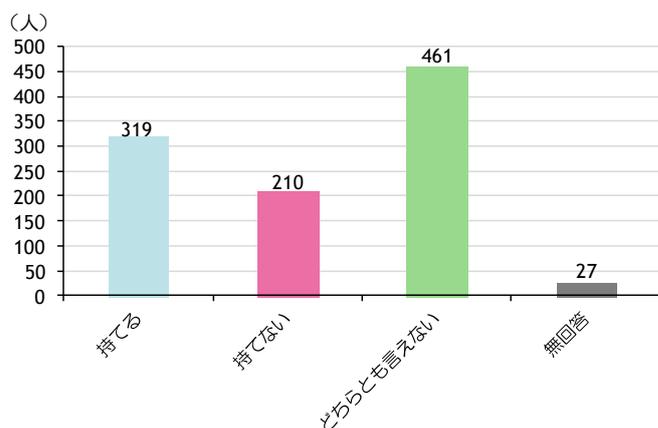


図 3-7-1 市職員応対の回答数

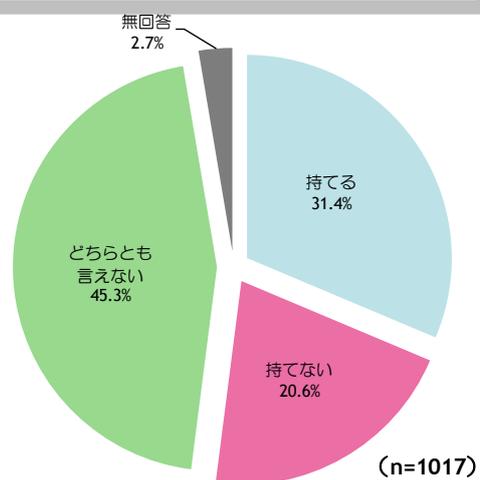


図 3-7-2 市職員応対の回答割合

### 【性別の市職員応対について】

「持てる」と回答した男性は 36.3%、女性は 27.3%となり、「持てない」と回答した男性は 20.6%、女性は 21.2%となった。

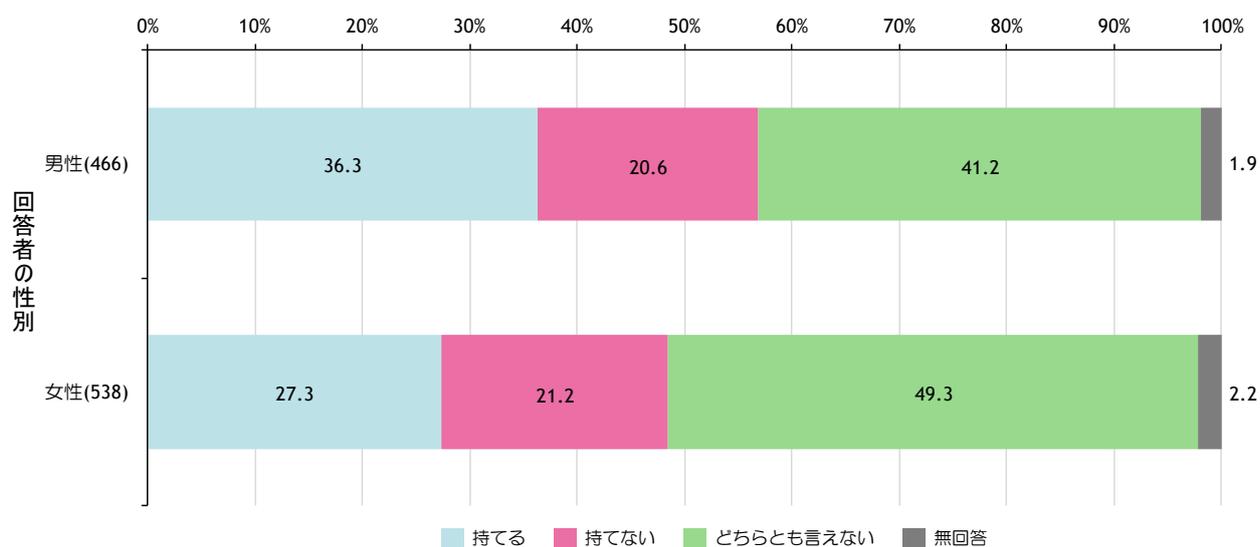


図 3-7-3 性別による市職員応対の回答割合

【年齢別の市職員応対について】

「持てる」「持てない」で比較すると、30～39歳、50歳以上の年齢層では「持てる」の割合が高くなっているが、20～29歳、40～49歳の年齢層では「持てない」の割合が高くなっている。

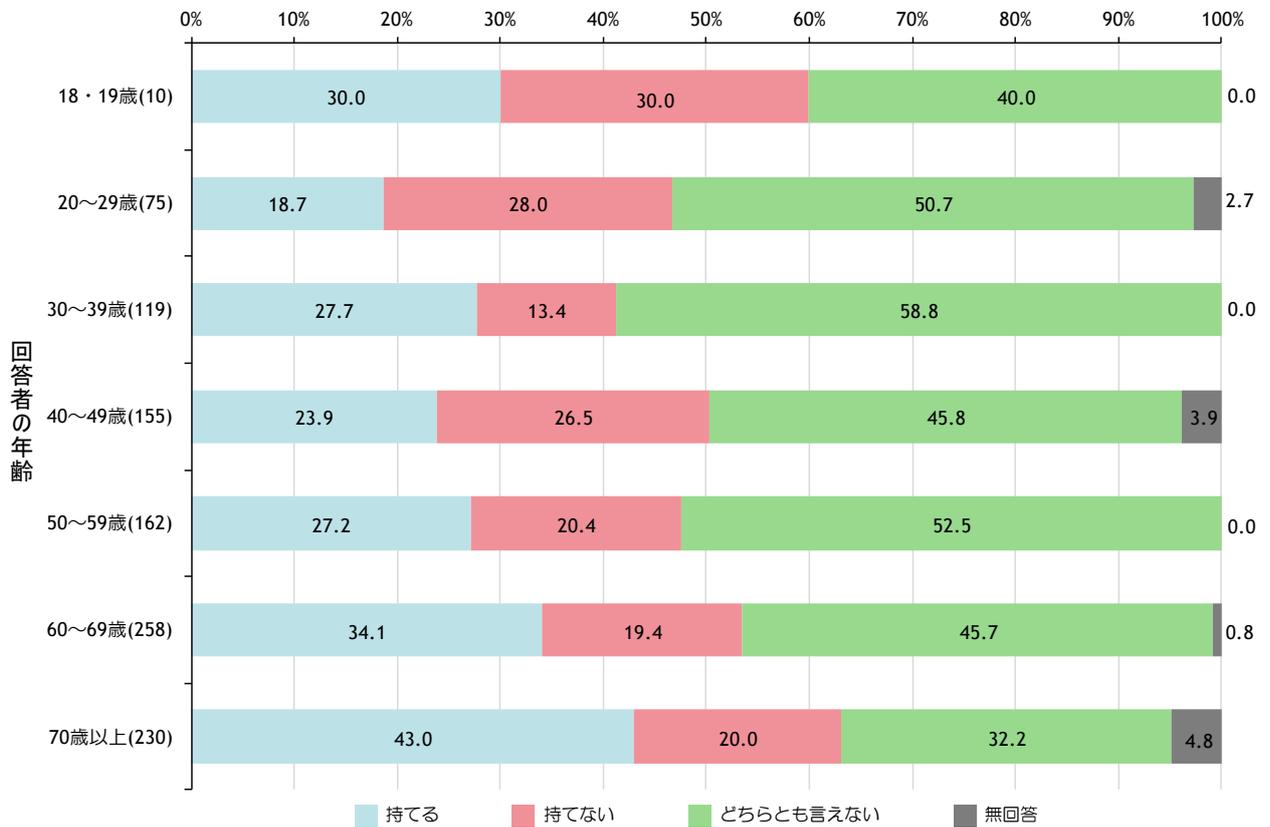


図 3-7-4 年齢別市職員応対の回答割合

<問 5-1 で「持てない」とお答えいただいた方>

問 5-2 どのような点に、好感がもてませんか。（複数回答可）

好感の持てないことについては、「言葉づかいや態度(38.6%)」が最も多かった。次いで、「説明が不十分(30.5%)」「その他(17.0%)」「たらい回しにされた(13.5%)」の順となっている。

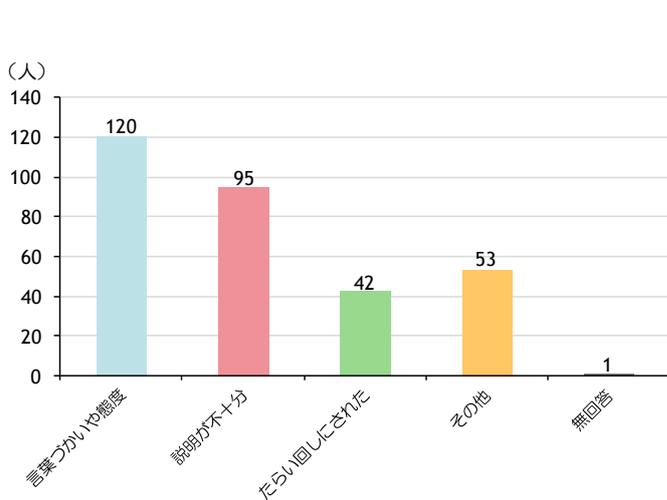


図 3-7-5 好感の持てないことへの回答数

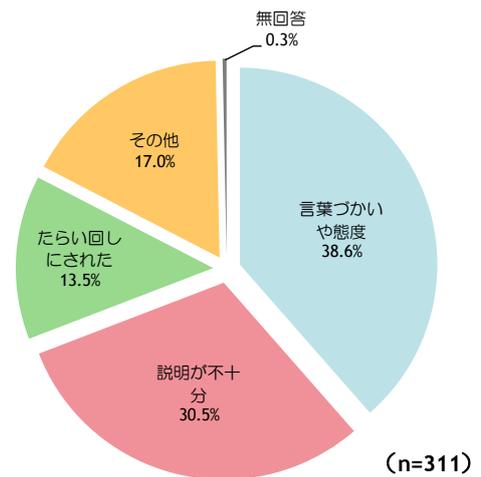


図 3-7-6 好感の持てないことへの回答割合

【年齢別の好感の持てないことについて】

「言葉づかいや態度」「説明が不十分」の割合がどの年齢層も高く、2つ合わせた割合が18・19歳を除き6割以上となっている。

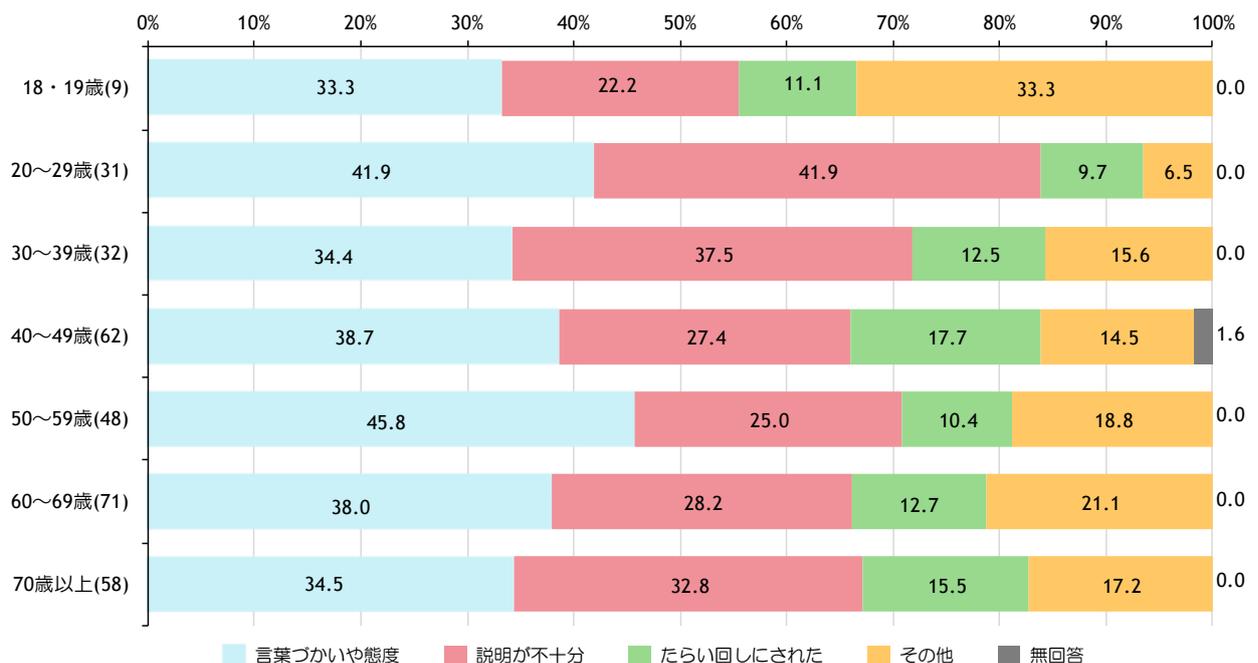


図 3-7-7 年齢別好感の持てないことへの回答割合

## (8) 地域福祉について

### 問 6-1 地域の福祉活動は充実していますか。

福祉活動については、「わからない(36.7%)」「まあまあ充実している(33.5%)」「あまり充実していない(20.2%)」「充実している(4.1%)」「充実していない(3.1%)」となった。

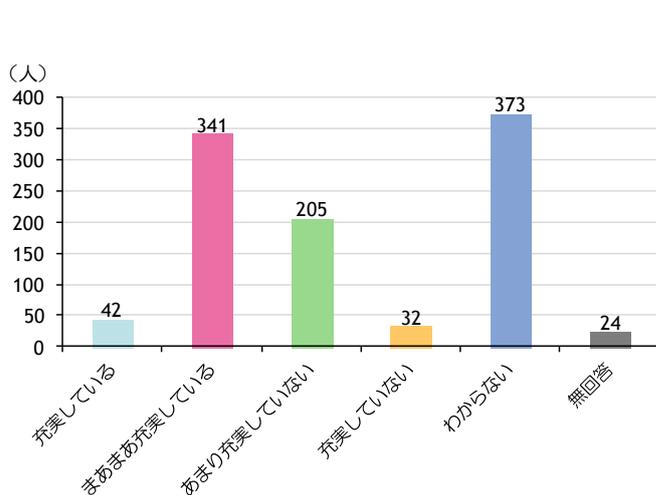


図 3-8-1 福祉活動の回答数

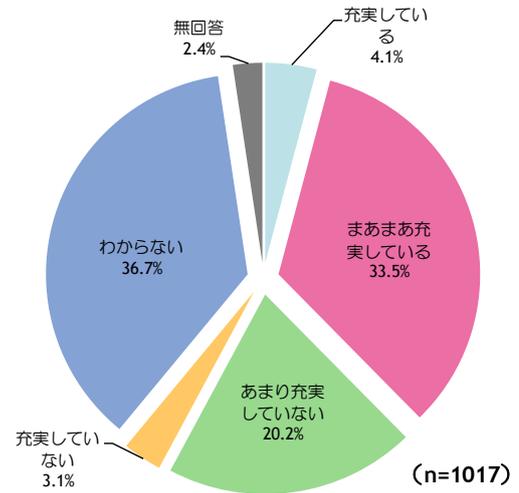


図 3-8-2 福祉活動の回答割合

### 【性別の福祉活動について】

「充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた男性の割合が 37.9%、女性の割合が 37.8%となり、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた男性の割合が 25.8%、女性の割合が 21.2%となった。

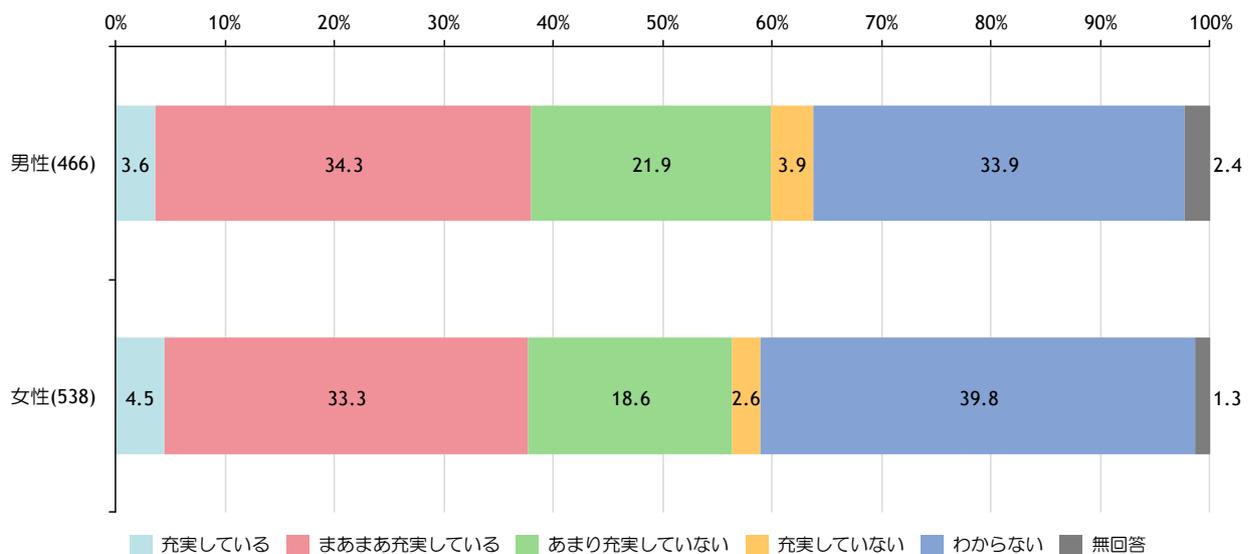


図 3-8-3 性別による福祉活動の回答割合

【年齢別の福祉活動について】

年齢別にみると、「充実している」「まあまあ充実している」の割合が、年齢が上がるほど大きくなっている。反対に「わからない」の割合は、年齢が下がるほど大きくなっている。

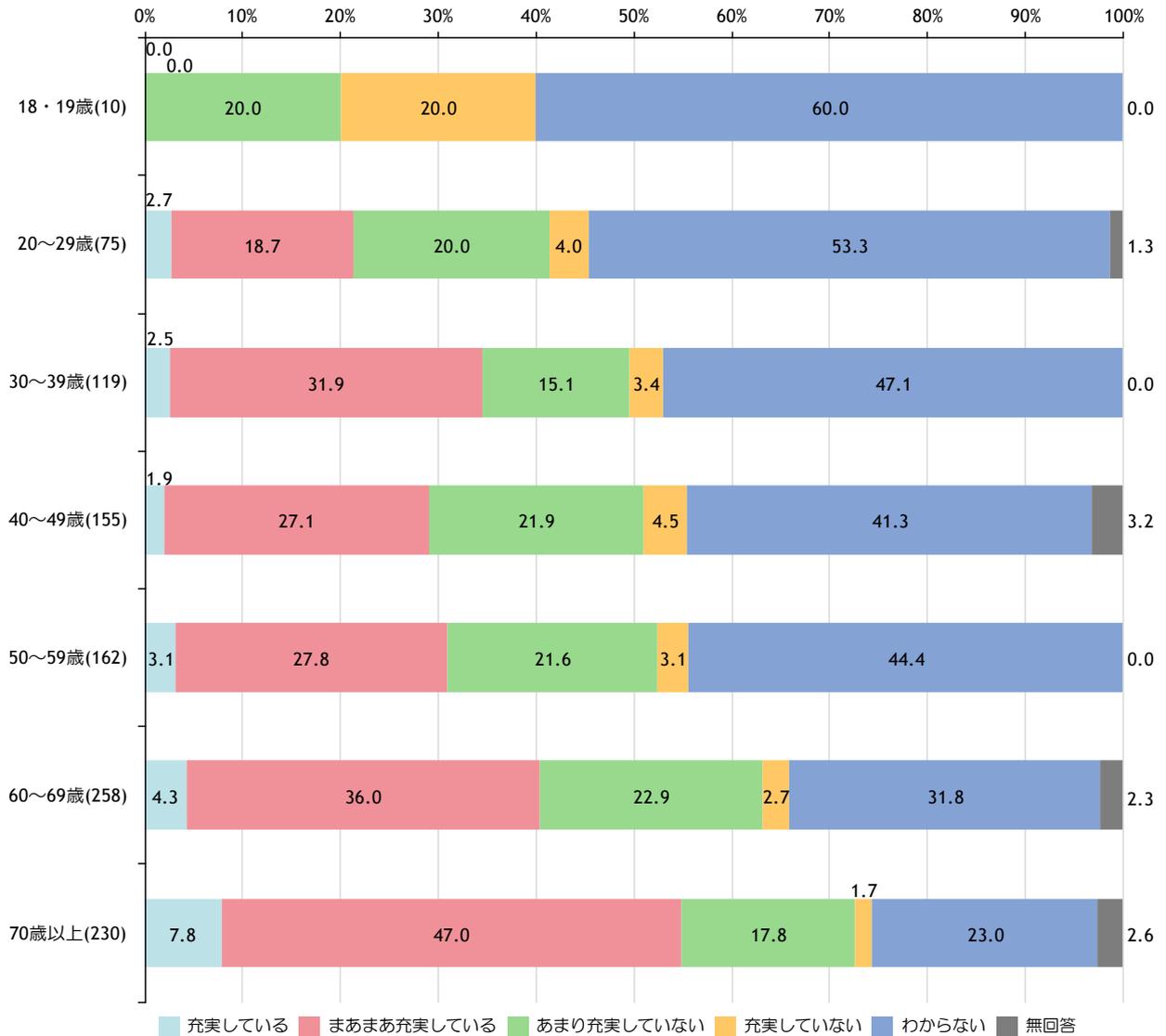


図 3-8-4 年齢別福祉活動の回答割合

<問 6-1 で「充実している」「まあまあ充実している」とお答えいただいた方>

問 6-2 その理由をお答えください。（複数回答可）

充実していることについては、「社協・民生(29.2%)」が最も多かった。次いで、「ボランティア(26.3%)」「ご近所同士(22.5%)」「区や自治会(18.7%)」の順となっている。

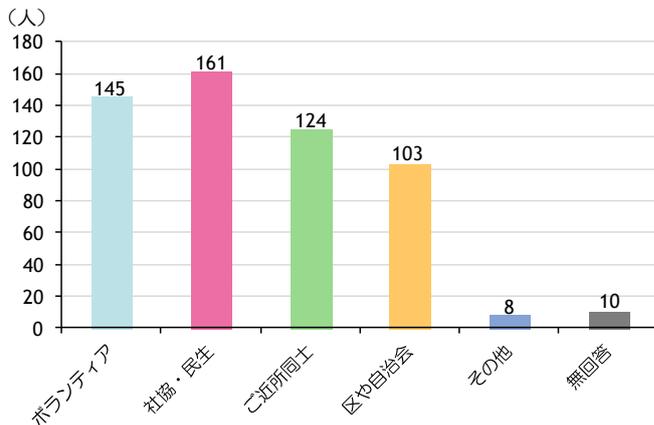


図 3-8-5 充実していることへの回答数

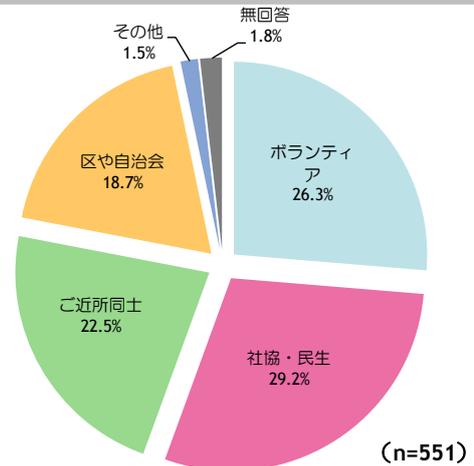


図 3-8-6 充実していることへの回答割合

グラフ内の項目について

- ボランティア : 見守り活動やサロン等のボランティア活動が盛んに行われているから
- 社協・民生 : 社協（各支部含む）や民生委員児童委員等による福祉活動が盛んだから
- ご近所同士 : 昔からご近所同士の関係が良いから
- 区や自治会 : 区や自治会の活動が盛んだから
- その他 : その他

【年齢別の充実していることについて】

「ボランティア」「社協・民生」「ご近所同士」「区や自治体」の割合をみると、どの年代も大きな偏りがない。

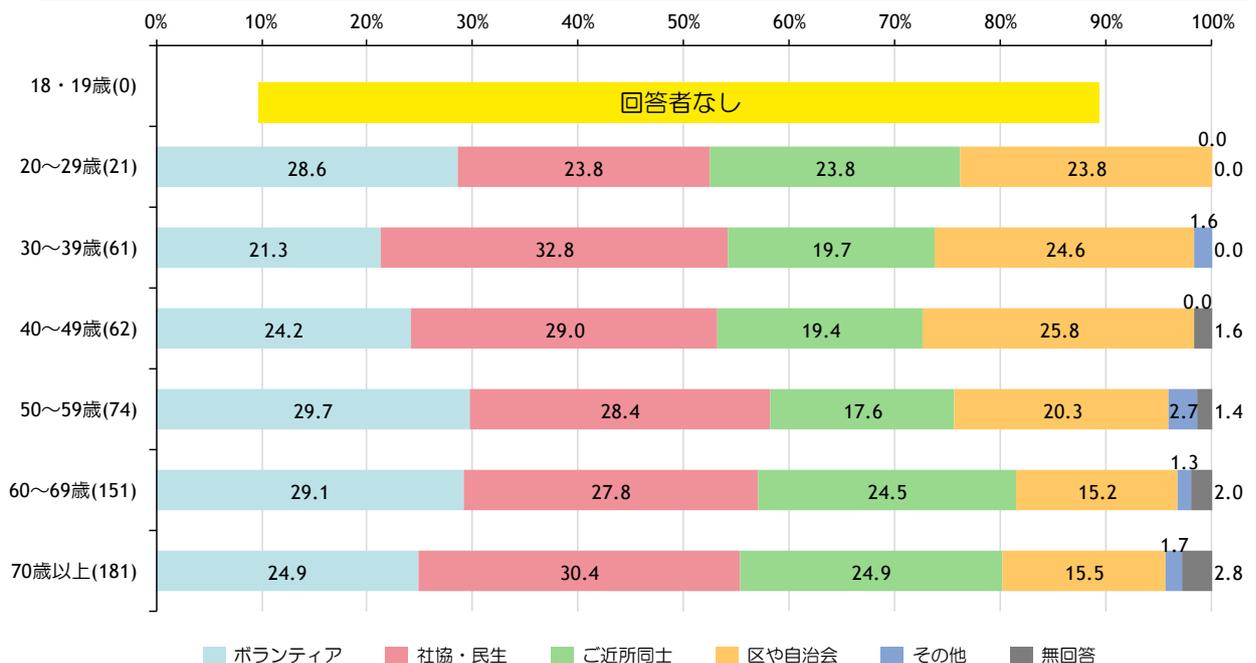


図 3-8-7 年齢別充実していることへの回答割合

**問 6-3 誰もが安心して暮らせる地域になっていますか。**

安心して暮らせる地域については、「まあまあ充実している(44.1%)」「あまり充実していない(26.3%)」「わからない(18.4%)」「充実していない(5.6%)」「充実している(2.9%)」となった。

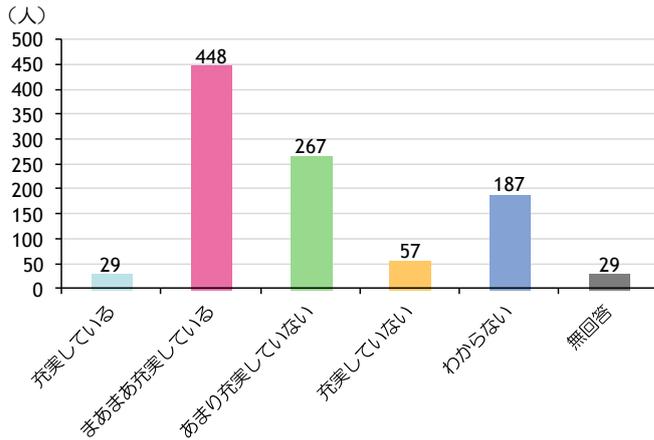


図 3-8-8 安心して暮らせる地域の回答数

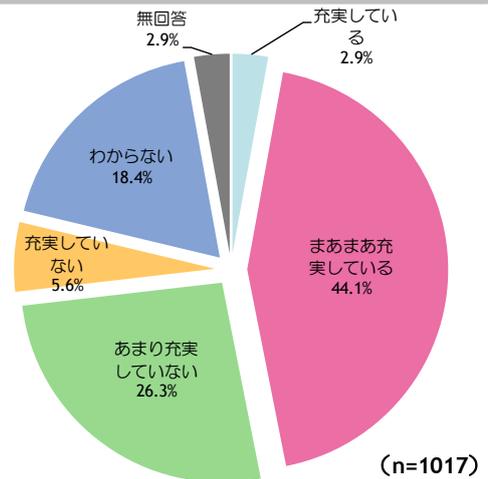


図 3-8-9 安心して暮らせる地域の回答割合

**【性別の安心して暮らせる地域について】**

性別による安心して暮らせる地域は、男女の割合にあまり差はない。

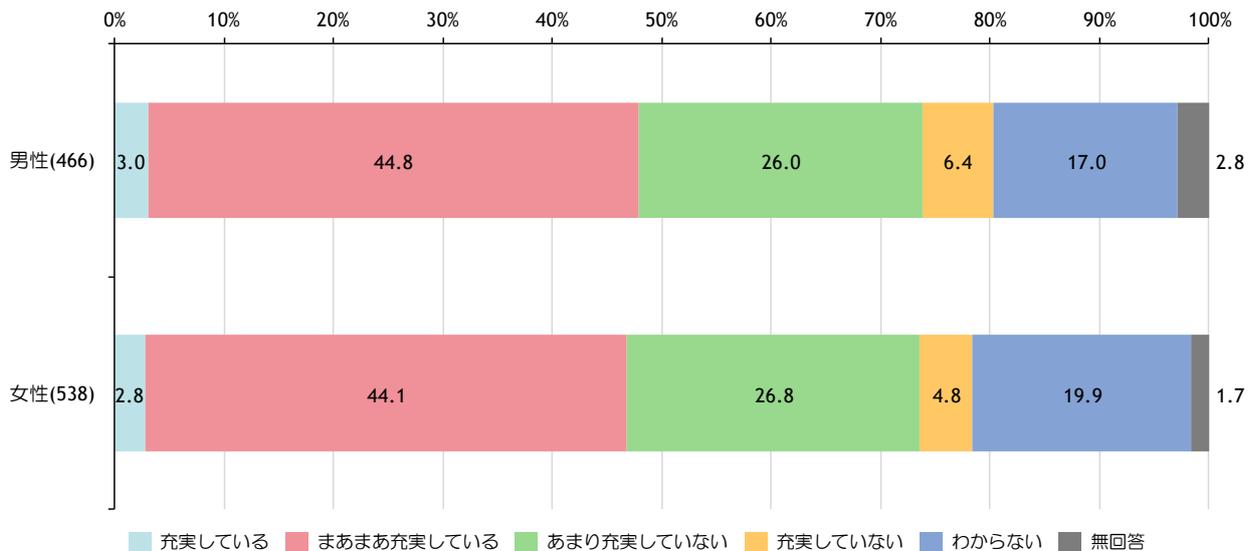


図 3-8-10 性別による安心して暮らせる地域の回答割合

【年齢別の安心して暮らせる地域について】

年齢別にみると、「充実している」「まあまあ充実している」の割合が、ばらつきがあるものの年齢層が上がるほど大きくなっている。

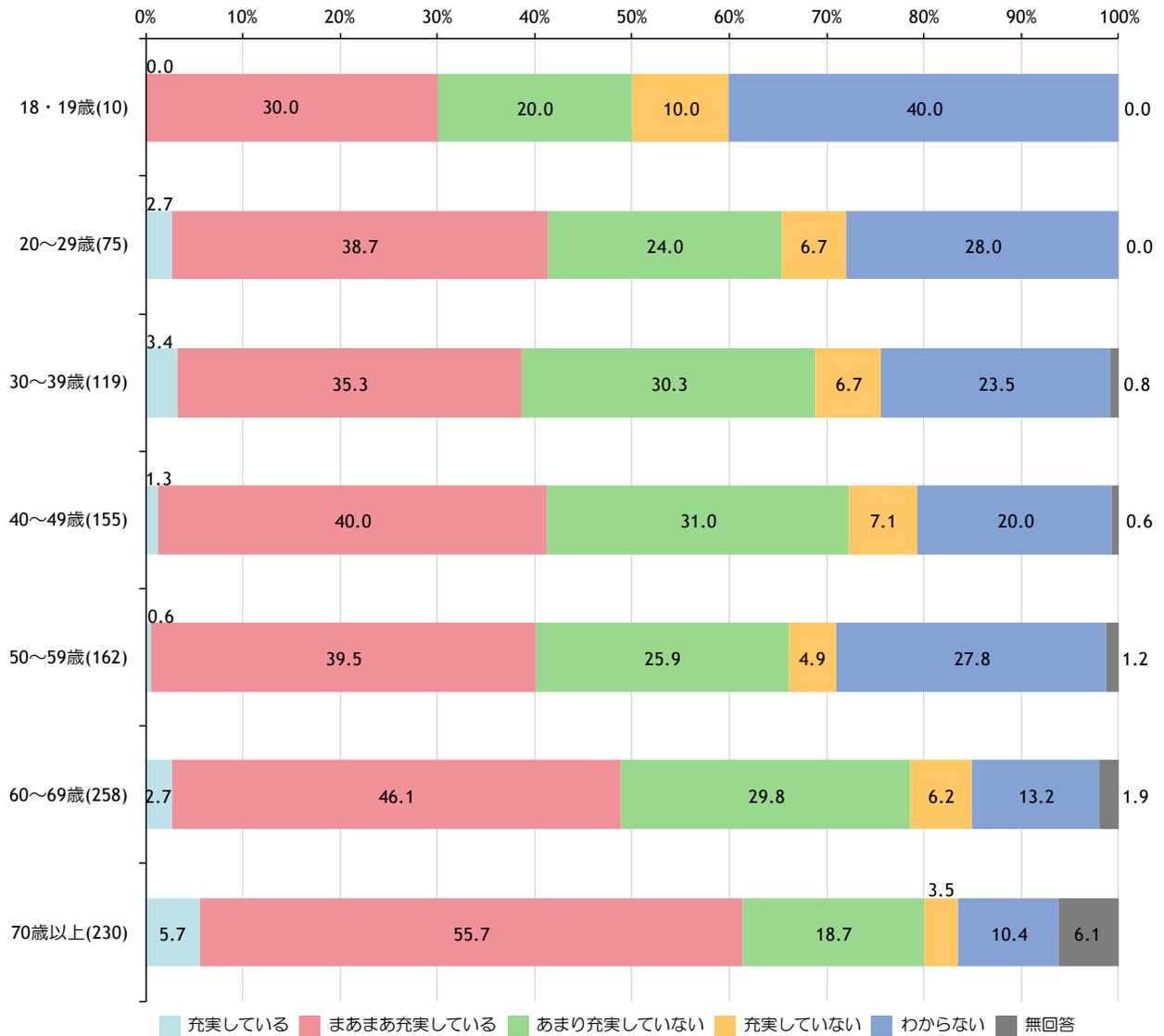


図 3-8-11 年齢別安心して暮らせる地域の回答割合

<問 6-3 で「充実している」「まあまあ充実している」とお答えいただいた方>

**問 6-4** その理由をお答えください。（複数回答可）

充実していることについては、「ご近所同士（34.0%）」が最も多かった。次いで、「区や自治会（22.6%）」「ボランティア（19.1%）」「社協・民生（18.8%）」の順となっている。

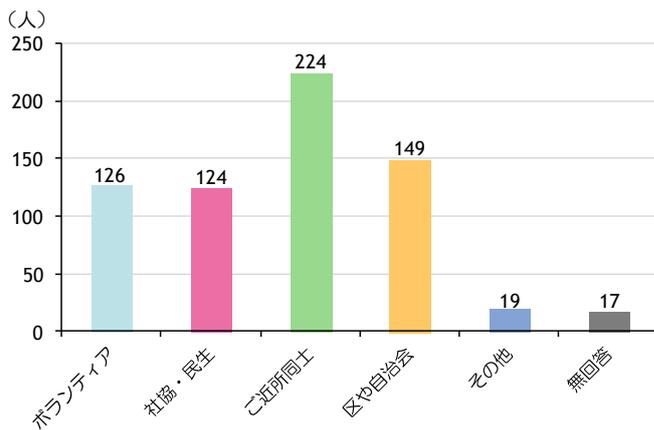


図 3-8-12 充実していることへの回答数

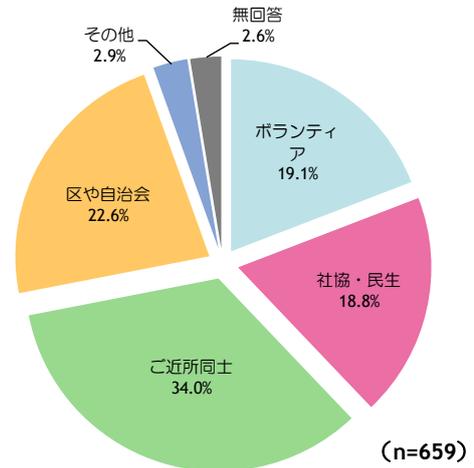


図 3-8-13 充実していることへの回答割合

**グラフ内の項目について**

- ボランティア : 見守り活動やサロン等のボランティア活動が盛んに行われているから
- 社協・民生 : 社協（各支部含む）や民生委員児童委員等による福祉活動が盛んだから
- ご近所同士 : 昔からご近所同士の関係が良いから
- 区や自治会 : 区や自治会の活動が盛んだから
- その他 : その他

**【年齢別の充実していることについて】**

年齢別で見ると、ご近所同士の割合が比較的高くなっており最も低い 40～49 歳でも、約 3 割となっている。

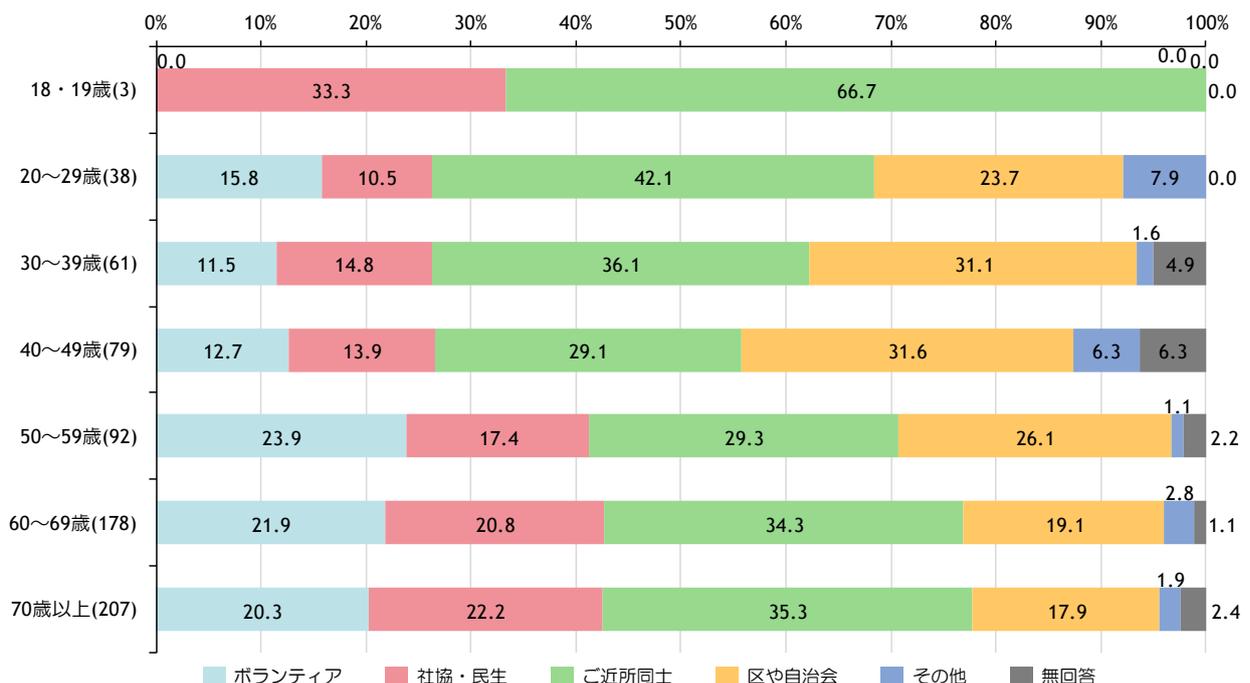


図 3-8-14 年齢別充実していることへの回答割合

<問 6-3 で「あまり充実していない」「充実していない」とお答えいただいた方>

問 6-5 その理由をお答えください。（複数回答可）

充実していないことについては、「地域や福祉(33.3%)」が最も多かった。次いで、「近所つきあい(20.2%)」「高齢者・障がい者(17.5%)」「地域の活動(13.9%)」の順となっている。

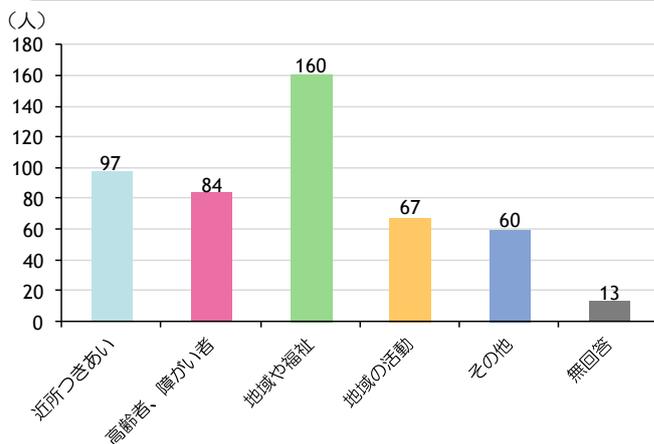


図 3-8-15 充実していないことの回答数

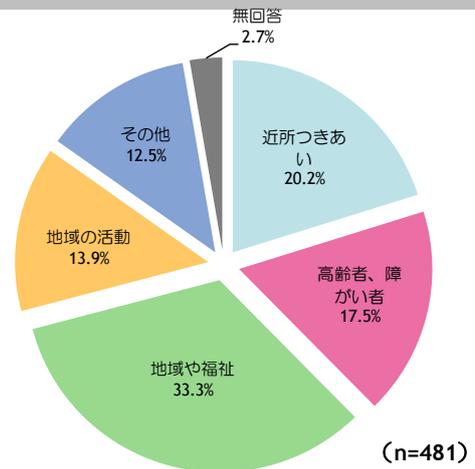


図 3-8-16 充実していないことの回答割合

グラフ内の項目について

- 近所つきあい : 近所つきあいがいから
- 高齢者・障がい者 : 高齢者、障がい者等への理解がないから
- 地域や福祉 : 地域や福祉に関する情報が余りないから
- 地域の活動 : 地域の活動へ参加する機会がないから
- その他 : その他

【年齢別の充実していないことについて】

年齢別で見ると、40歳以上では「地域や福祉」、20～29歳では「近所つきあい」、18・19歳では「高齢者・障がい者」の割合が多くなっている。

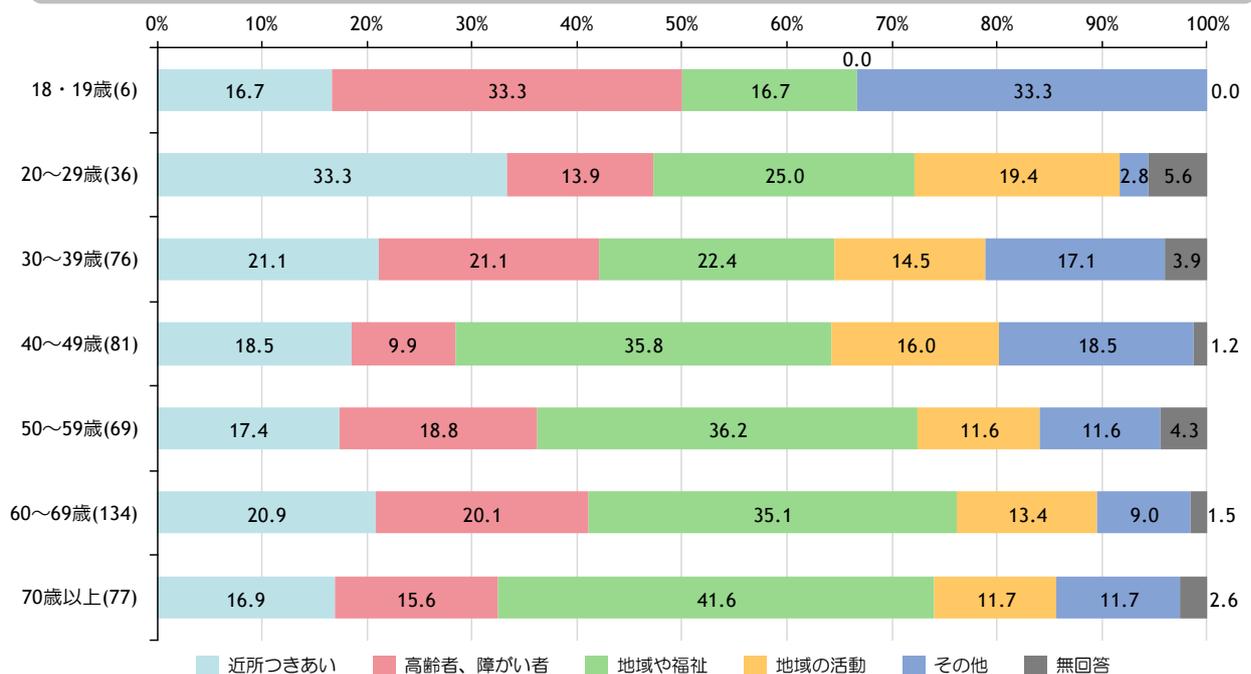


図 3-8-17 年齢別充実していないことの回答割合